

金沢市青少年 健全育成推進 アクションプラン



金 沢 市

令和5年3月

はじめに

未来を担う青少年が健全に育つことは、社会にとって大きな希望であり、青少年が地域とともに成長できるようより良い環境を整えることは地域や行政の責務でもあります。

本市では、これまで地域における青少年の育成を推進する団体の支援や青少年の非行防止など、青少年の健全な育成を目指した施策に取り組んできました。

しかしながら、少子高齢化やICTの発展など社会状況が大きく変化する中、青少年の取り巻く現状には、家庭や地域の教育力の低下やSNSに起因した犯罪被害、ネットトラブルの増加、貧困・虐待など、課題は多岐にわたりその深刻化が懸念されます。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により、青少年の野外体験活動や豊かな感性を育てる文化・スポーツ体験など大きな制約を生みました。しかし、社会経済活動を戻そうという動きがある今、コロナ禍前の活発な活動を取り戻し、生きる力を育むといった青少年の自己形成の支援が求められています。

このような状況を踏まえ、今回、本市が取り組む青少年に関わる施策の方向性を明確にし、総合的に推進するためこのアクションプランを策定いたしました。

また、プランを作成するにあたり、ワーキングチームの若者たちが市の野外活動施設の活用などについて議論し、その提言の内容を巻末に編集いたしました。今後も、若者が身近な課題や金沢のまちづくりについて話し合える場を大切にしていまいります。

このプランでは、「金沢の未来を担う健やかな青少年の育成～地域とともに成長できる環境づくりをめざして～」を基本理念として掲げて、青少年が地域の中で健やかに成長できるよう効果的な施策を展開してまいります。

また、青少年が置かれている多種多様な状況に関わらず、より多くの個人や団体・地域からの支援をはじめ、本市全体ですべての青少年の健やかな成長を支援する取り組みをより一層推進していきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和5年（2023年）3月

金沢市長 村山 卓

目次

第1章 計画策定にあたって.....	1
1. プラン策定の背景と目的.....	3
2. プランの対象.....	3
3. プランの位置付け.....	4
4. プランの期間.....	5
第2章 青少年を取り巻く状況.....	7
1. 社会環境の変化.....	9
(1) 人口減少、核家族化の進行.....	9
(2) 情報社会の進展.....	13
(3) 雇用状況の変化（女性の就業率）.....	14
2. 青少年と保護者の現状.....	15
(1) 青少年に関するアンケート調査概要.....	15
(2) 調査結果.....	16
3. 青少年を取り巻く課題.....	39
(1) 家庭をめぐる課題.....	39
(2) 学校をめぐる課題.....	39
(3) 地域社会をめぐる課題.....	39
(4) 情報通信環境をめぐる課題.....	39
(5) 就業をめぐる課題.....	40
(6) その他（社会全体における課題）.....	40
第3章 青少年育成の施策.....	41
1. 基本理念.....	43
2. 基本方針.....	44
3. 施策の体系.....	45
4. 基本方針と指標.....	46
(1) 地域社会に主体的に参加したい青少年の状況を図る指標.....	46
(2) 青少年の安心できる居場所の状況を図る指標.....	47
(3) 青少年が非行や問題行動等を起こすことなく、健全に生活している状況を図る指標.....	48
(4) 野外体験施設の利用ニーズを図る指標.....	49
5. 施策の方向性・施策・関係事業.....	50

第4章 プランの推進体制.....	70
1. プランの広報	71
2. プランの推進	71
(1) こども未来局を中心とした推進体制.....	71
(2) 関係団体との連携.....	71
3. プランの進行管理.....	71
資料編	73
1. 策定経緯	75
2. 委員名簿	76
(1) 金沢市青少年健全育成推進アクションプラン検討委員名簿.....	76
(2) 金沢市青少年健全育成推進アクションプラン・若者ワーキングチーム.....	76
3. 若者ワーキングチーム会議の提案.....	77
(1) 長土堀青少年交流センターに関する提案.....	77
(2) 野外体験施設（娯杉少年の森・土子原こども野外広場）に関する提案.....	79

第1章 計画策定にあたって

第1章 計画策定にあたって

1. プラン策定の背景と目的

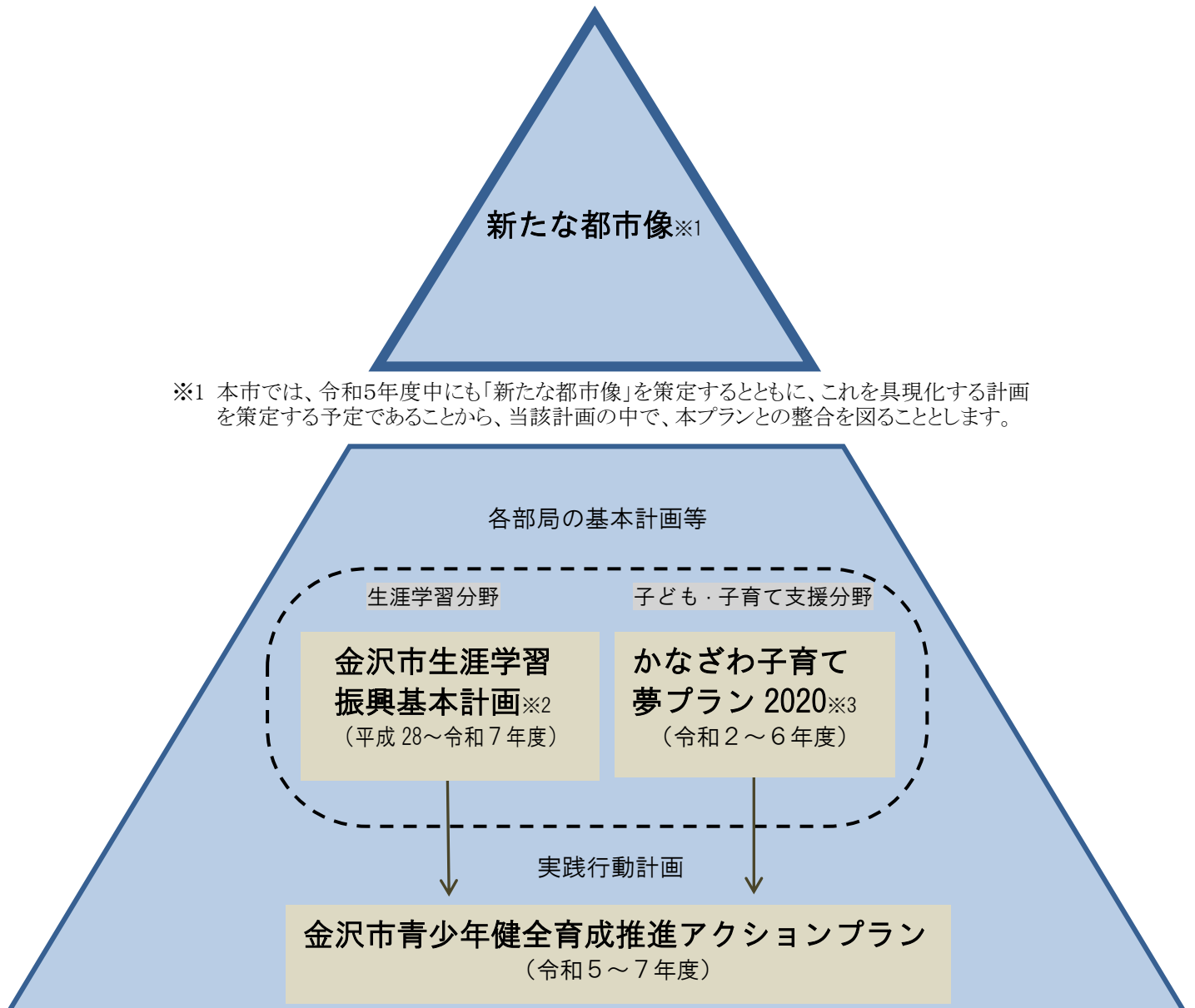
- 我が国では、少子高齢化による人口減少、地域コミュニティの希薄化が進み、グローバル化の進展やICTの発展など、社会状況が大きく変化しています。加えて、新型コロナウイルス感染症による活動の制約など、青少年を取り巻く状況は大きく変化しています。
- 国では、日本国憲法及び児童の権利に関する条約にのっとり、総合的な子ども・若者育成支援施策を推進することを目的として、子ども・若者育成支援推進法（以下、「子若法」という。）が平成22年4月に施行され、12年が経過しました。この間、政府は平成22年度及び27年度の2次にわたり、子若法に基づき、「子ども・若者育成支援推進大綱」（以下、「大綱」という。）を策定し、令和3年に、第3次となる大綱を策定しました。
- 本市においては、これまで、「かなざわ子育て夢プラン2020」（令和2年3月策定）や「金沢市生涯学習振興基本計画」（令和3年3月改定）等を策定し、子どもを健やかに育む施策や青少年の育成のために家庭・地域教育力の向上に取り組んできました。具体的には、金沢市学校教育推進基本計画、金沢市子ども生活応援プラン、金沢市スポーツ推進計画ほか、多方面から行動・推進計画等を策定し施策を進めてきています。
- 更にこの取り組みを推進し相乗効果を高めるためには、子ども・若者の育成に係る各種施策に関して本市全体を横断的に捉えながら、担当各課はもとより、関連団体等ともその連携を強化し、将来の金沢を担う青少年の育成施策を充実させていく事が必要です。
- また、活動の制約や人との交流が制限されてきたコロナ禍を経て、社会経済活動を戻そうという動きがある今、青少年のニーズに沿った多様な文化・スポーツ体験や積極的な地域との関わりに対する支援が必要です。
- そこで、本市が取り組むべき青少年の施策の方向性を明確にし、総合的に推進するため、新たに「金沢市青少年健全育成推進アクションプラン」（以下、「プラン」という。）を策定することとします。

2. プランの対象

本プランの対象者は、概ね30歳までの青少年とします。

3. プランの位置付け

本プランは、「かなざわ子育て夢プラン 2020」や「金沢市生涯学習基本計画」を上位計画とする青少年健全育成施策に焦点を当てた実践行動計画です。



※2 「金沢市生涯学習振興基本計画」の基本的方向性2「青少年育成のための家庭・地域教育力の向上」のうち

■基本施策の考え方

- 1「青少年の主権者教育の推進」
- 2「地域で子どもを育てる意識向上活動への支援」
- 3「地域創生に向けた学生と若い世代の社会参画の推進」
- 6「学校、家庭、地域の連携促進による協力体制の推進」等が本プランと関連します

※3 「かなざわ子育て夢プラン 2020」の基本方針4「未来への希望を“つくる”まちへ」のうち

■基本施策

- 4「子どもの安全確保」
- 6「子育てに関する人材育成」
- 7「未来の親となる青少年の育成」
- 8「思春期の子どもの健やかな成長への支援」
- 9「子育てにやさしいまちづくり」等が本プランと関連します。

4. プランの期間

プランの推進期間は、上位計画の「金沢市生涯学習振興基本計画」の計画終期に合わせて、令和5年～7年度の3年間とします。ただし、プランを推進していく過程において、子ども家庭庁の発足等の国の動向や社会情勢等の変化等により、プランの見直しが必要になった場合には、柔軟に対応していくこととします。

第2章 青少年を取り巻く状況

第2章 青少年を取り巻く状況

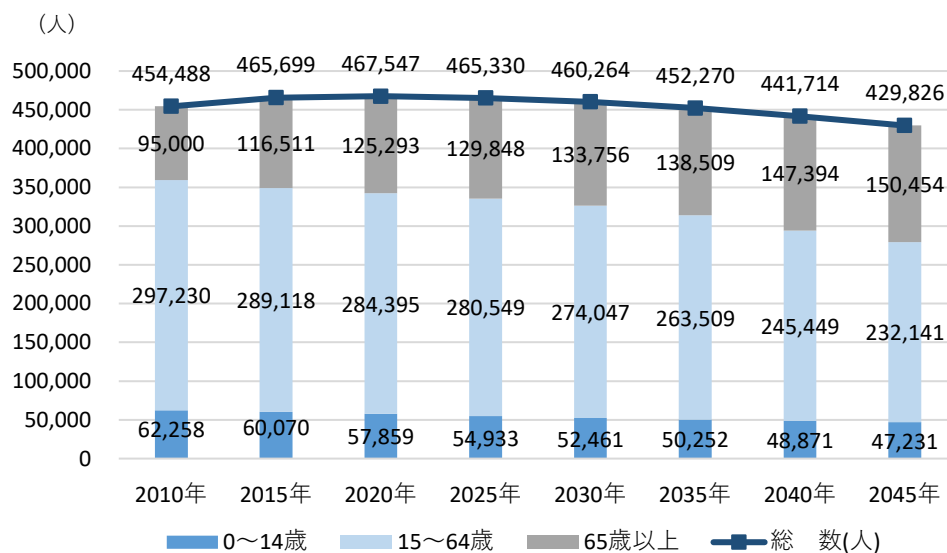
1. 社会環境の変化

(1) 人口減少、核家族化の進行

① 将来推計人口

本市における2045年の総人口（国立社会保障・人口問題研究所2018年度推計準拠）は、2015年比で約3万6千人減少すると推計されています。また、15～64歳の生産年齢人口は、総人口の減少数を上回る約5万7千人減少すると推計されており、少子高齢化の進展による労働力の低下が懸念されます。

図表1 金沢市の人口の長期的見通し

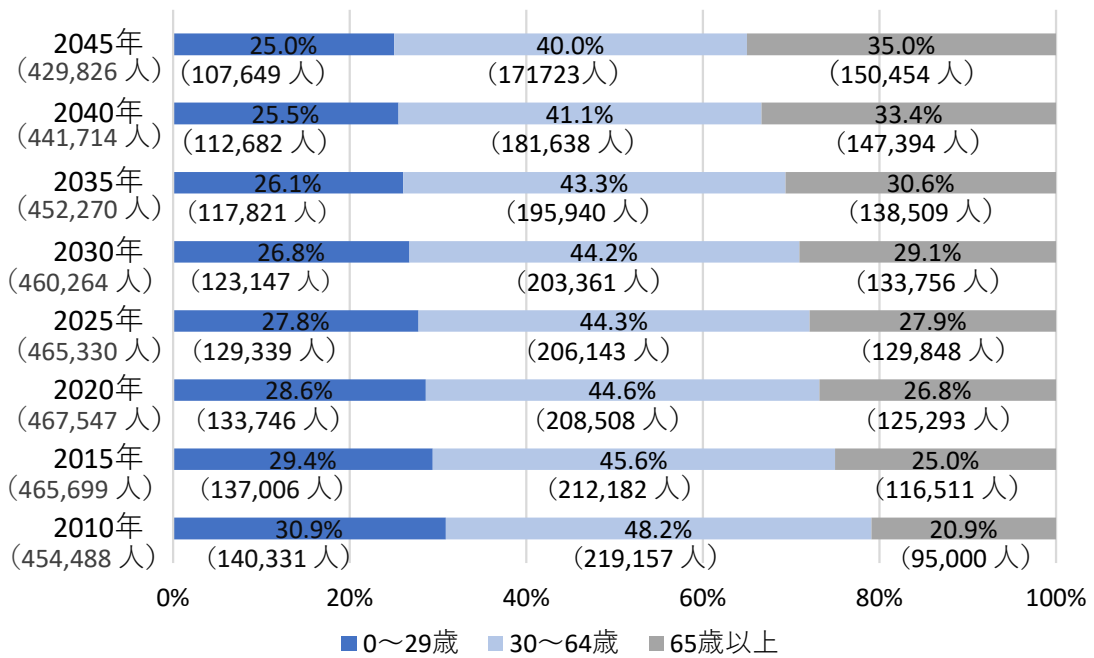


資料：国立社会保障・人口問題研究所2018年度推計 2010年、2015年は国勢調査実績値

② 青少年の人口分布

2015年の本市の青少年（0～29歳）の人口は、137,006人で、本市総人口の29.4%を占めています。2010年の割合と比較すると1.5ポイント減少しており、減少の傾向となっています。2045年の総人口（国立社会保障・人口問題研究所2018年度推計準拠）においては、25.0%となることが予測されています。

図表 2 青少年の人口分布

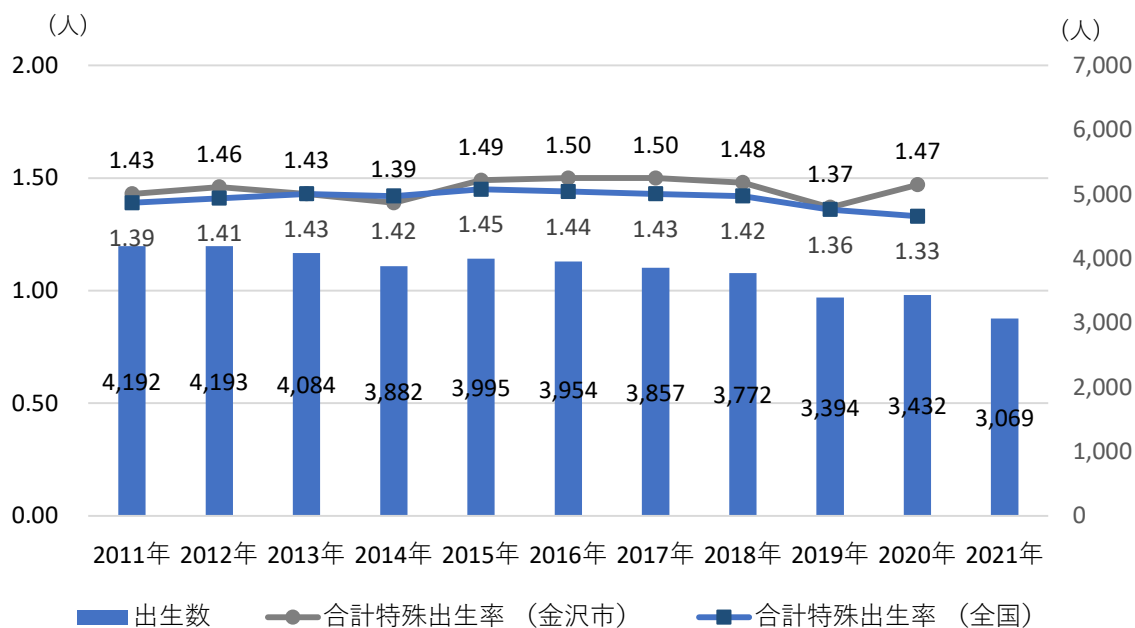


資料：国立社会保障・人口問題研究所2018年度推計 2010年、2015年は国勢調査実績値

③ 出生数及び合計特殊出生数の推移

本市の出生数は減少傾向にあり、2021年は2011年より1,123人減少しています。合計特殊出生率は、2017年以降減少傾向にあります。全国よりも高く推移しています。

図表3 出生数及び合計特殊出生率の推移



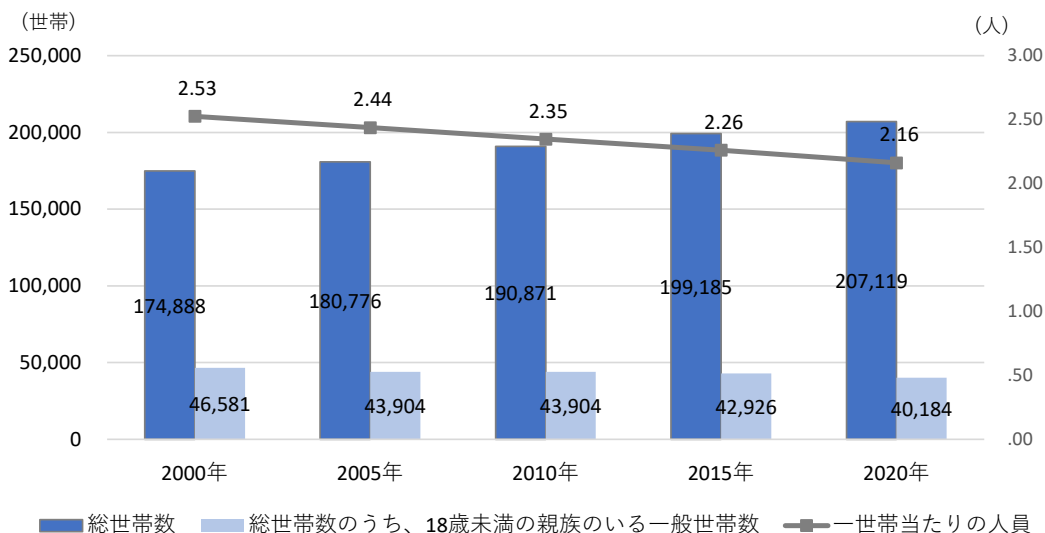
資料：「金沢市統計書」(2020年)

④ 世帯数等の推移

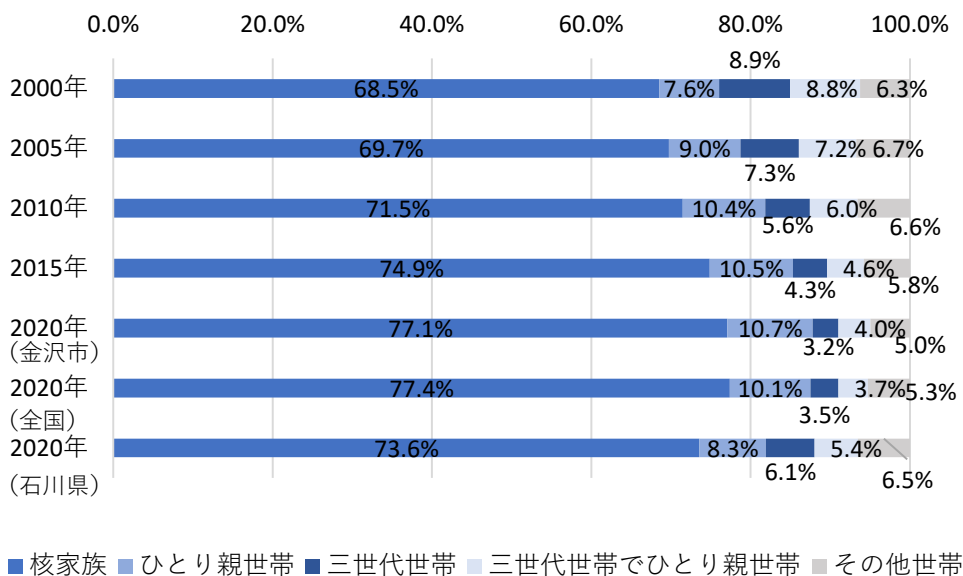
総世帯数は、単身世帯や夫婦のみ世帯の増加により増加している反面、18歳未満のいる一般世帯数は減少を続けています。また、本市の18歳未満の子どもがいる世帯の形態について、2000年は核家族が68.5%で最も多く、2020年には、77.1%に増加し、核家族化が進行しています。

また、ひとり親世帯は、2000年は7.6%でしたが、2020年には10.7%に増え、全国の割合よりも高くなっています。

図表4 世帯数等の推移



図表5 18歳未満の子どもがいる世帯の形態の推移



資料：国勢調査（2000年～2020年）

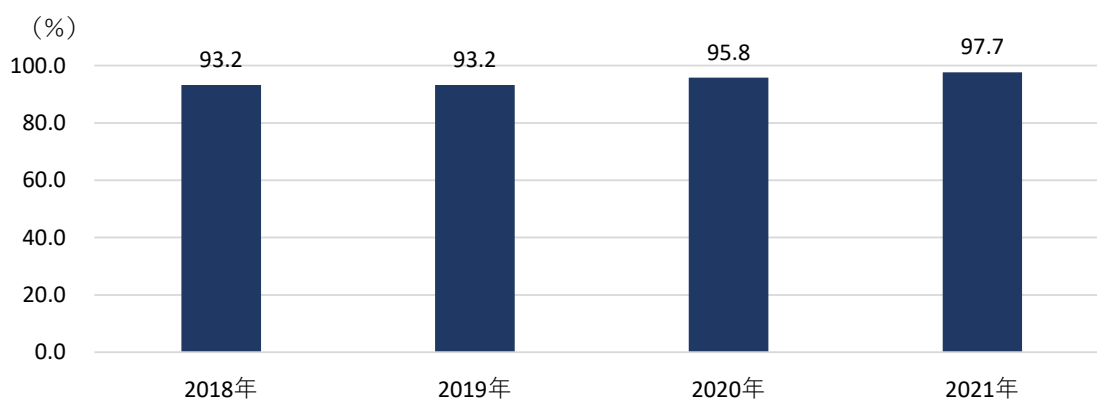
(2) 情報社会の進展

AI（人工知能）、ロボット、IoT（モノのインターネット）等を活用し、経済発展と社会課題の解決を両立させ人々が豊かな生活を送る「超スマート社会（Society5.0）」の実現に向けて、技術革新が進んでいます。

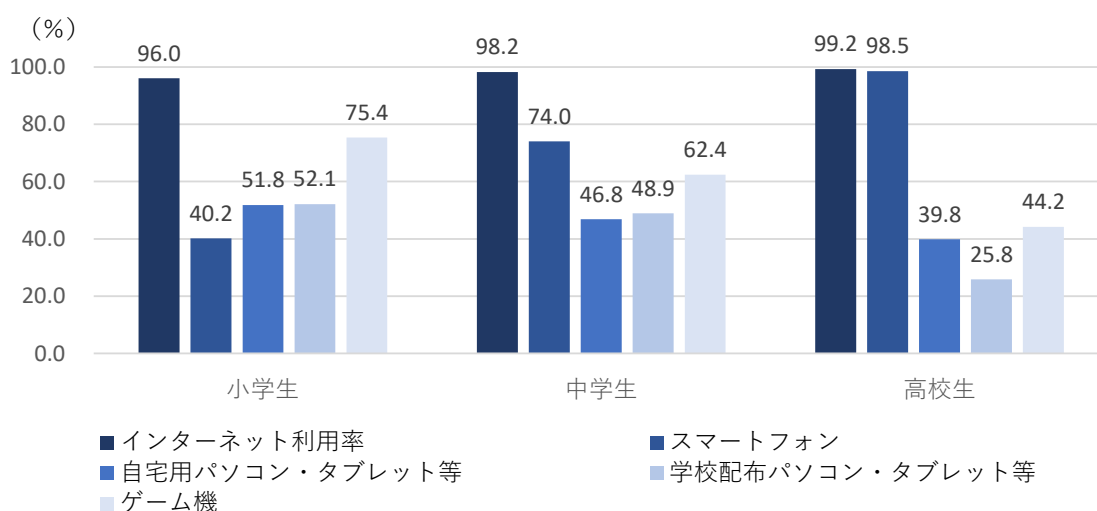
新しい生活様式に対応したテレワークやオンライン授業等、ICT（情報通信技術）の活用は、世代を超えて日常生活にも浸透してきています。

2021年度の内閣府の調査によると、青少年のインターネット利用率は年々増加しており、2021年度で97.7%、小学生が96.0%、中学生が98.2%、高校生が99.2%です。

図表 6 青少年のインターネット利用率の推移（全国）



図表 7 青少年のインターネット利用率（全国）

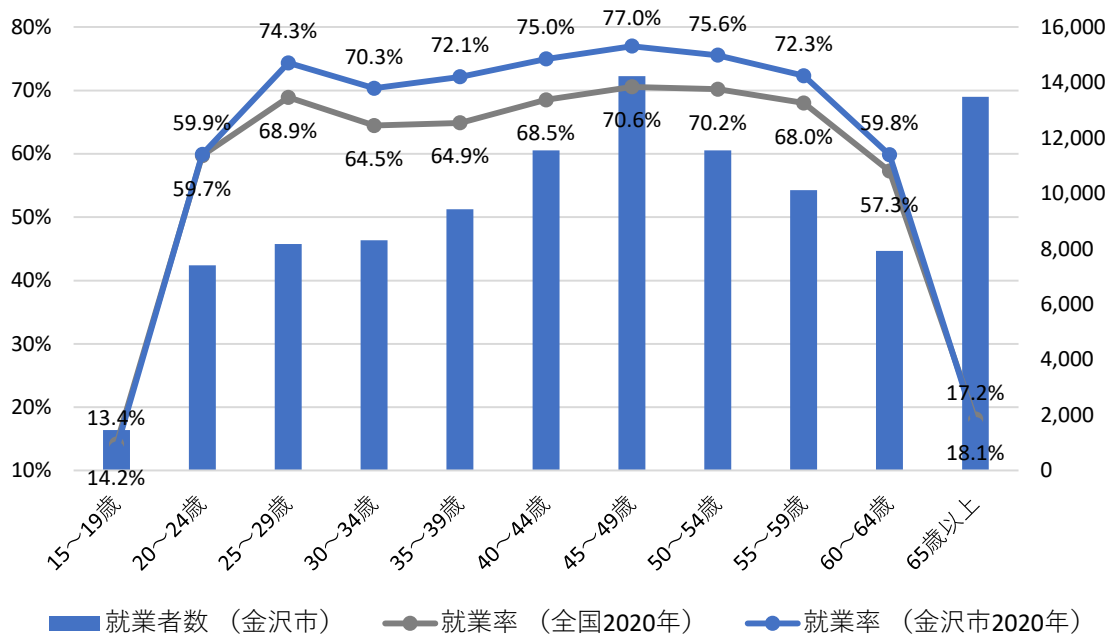


資料：内閣府「令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査」

(3) 雇用状況の変化（女性の就業率）

女性の就業率の年代別推移は、20歳～64歳まで、各年代を通じて全国を上回っています。また、全国の状況と同様に30歳代の比率が前後の世代に比べて低い「M字カーブ」となっており、出産、子育てにより離職し、その後再び就労する傾向がうかがえます。

図表 8 女性の就業者数と就業率



資料：国勢調査（2020年）

2. 青少年と保護者の現状

(1) 青少年に関するアンケート調査概要

1) 調査対象・配布枚数・回収率

図表 9 調査対象・配布枚数・回収率

調査対象	配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
①小学5年生	232	220	94.8
②中学2年生	216	195	90.3
③高校2年生	237	223	94.1
④①～③の保護者	685	593	86.6
⑤長土堀青少年交流センター利用者	51	51	100.0
⑥青少年団体の団員等	60	(うち保護者：32) 59	98.3
合計	1,481	1,341	90.5

2) 調査方法

①～④：学校で配布・回収

- ・小中学校は、市内を3つのエリアに分け、小・中1校ずつ抽出し、小5及び中2の各2クラスを対象
- ・高校は、市内4校（市立1校、私立1校、県立2校）を抽出し、そのうち高2の計6クラスを対象

⑤：施設受付で配布・回収

⑥：団体事務局を通じて配布・回収

3) 調査スケジュール

①～④：9月始業日に配布、令和4年9月7日（水）回収

⑤：8月中施設入り口に配置、令和4年8月31日（水）回収

⑥：8月中に配布、令和4年8月31日（水）回収

※全国値は、以下の調査結果を参考としています。

調査名：子供・若者の意識に関する調査（令和3年度）内閣府政策統括官（共生社会政策担当）

調査地域：全国

調査対象者：令和4年1月1日現在、10～15歳の男女

標本数：3,600人

有効回答数：1,936人（有効回収率53.5%）

調査方法：郵送法（オンライン回答併用）

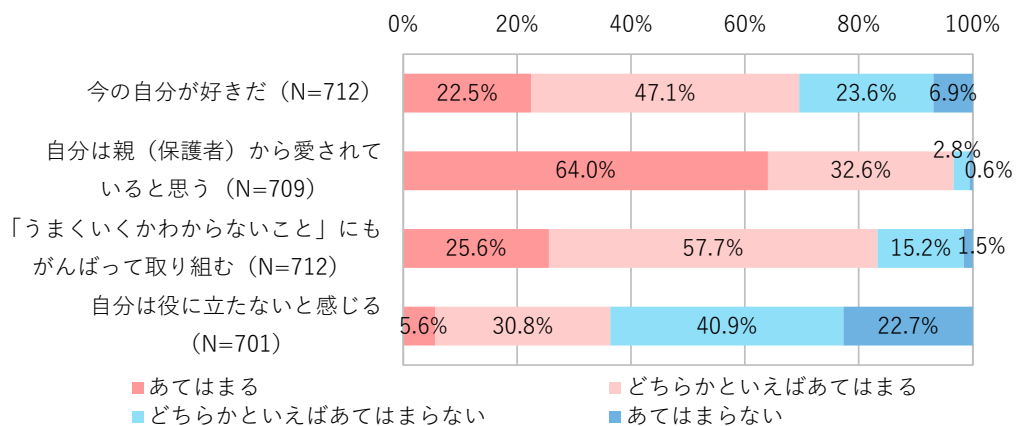
調査期間：令和4年2月7日～24日

(2) 調査結果

① 青少年の意識について

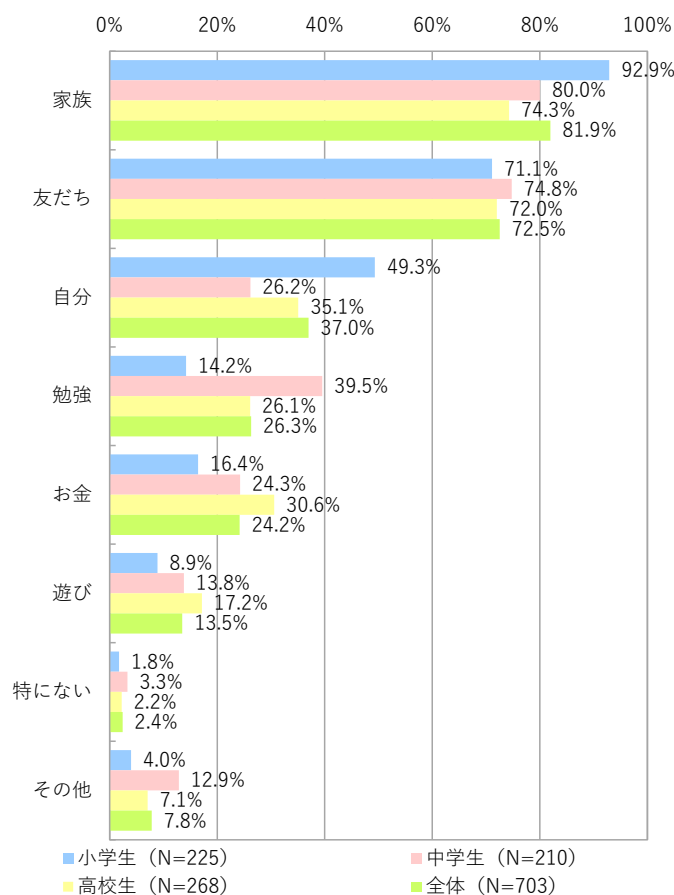
- ・金沢市の青少年は、半数以上が「今の自分が好きだ」、「自分は親（保護者）から愛されていると思う」、「うまくいくかわからないこと」にもがんばって取り組む」、「自分は役に立つ」と感じています。しかし、これらの項目について全国値※と比較すると、「今の自分が好きだ」と「自分は役に立つと感じる」について低くなっています。また、小学生、中学生、高校生と学齢が高くなるとそう感じる意識が低くなる傾向がみられます。（図表 10）
- ・「将来に希望がある」青少年は約 8 割、「夢をもっている」青少年は、約 7 割を占めています。（図表 12、13）
- ・将来仕事を決める際に重要な点として半数以上が選んでいるのは、「生活が安定していること」、「自分の才能や趣味が活かせること」です。（図表 16）
- ・回答者の 69.6%が「今の自分が好きだ」、96.6%が「自分は親（保護者）から愛されていると思う」、83.3%が「うまくいくかわからないこと」にもがんばって取り組む」、また、63.6%が「自分は役に立つと感じる」と答えています。
（全国値：「今の自分が好きだ」78.7%、「自分は親（保護者）から愛されていると思う」96.5%、「うまくいくかわからないこと」にもがんばって取り組む」81.4%、「自分は役に立つと感じる」77.2%。）
- ・自己認識については、小学生、中学生、高校生と学齢が高くなると低くなる傾向がみられます。

図表 10 自己認識



- ・「一番大切に思っていること」は「家族」、「友だち」、「自分」の順に高く、「家族」・「友だち」は、70%以上が「一番大切である」と答えています。

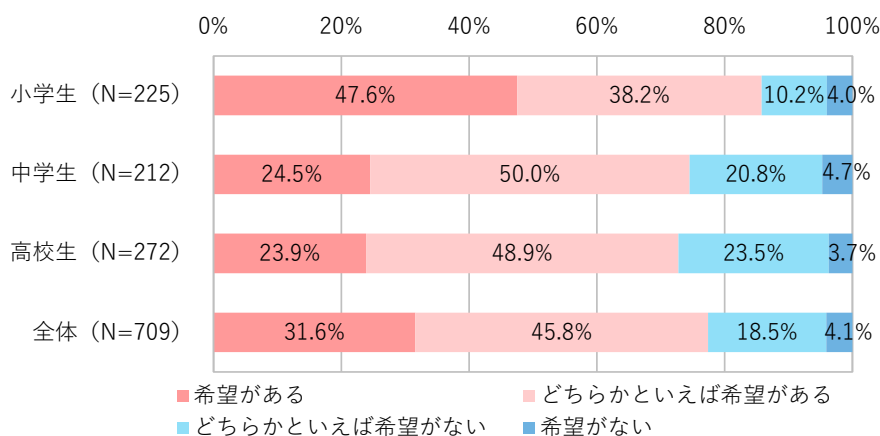
図表 11 一番大切に思っていること



- ・「自分の将来への希望」については、「希望がある」「どちらかといえば希望がある」が、全体では77.4%を占めています。

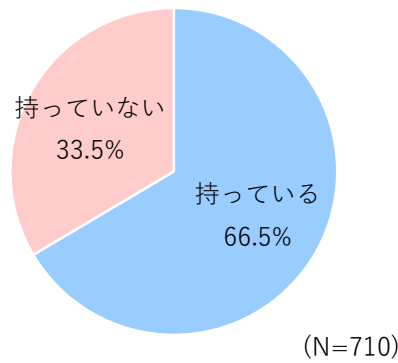
(全国値：「希望がある」「どちらかといえば希望がある」81.7%)

図表 12 将来への希望

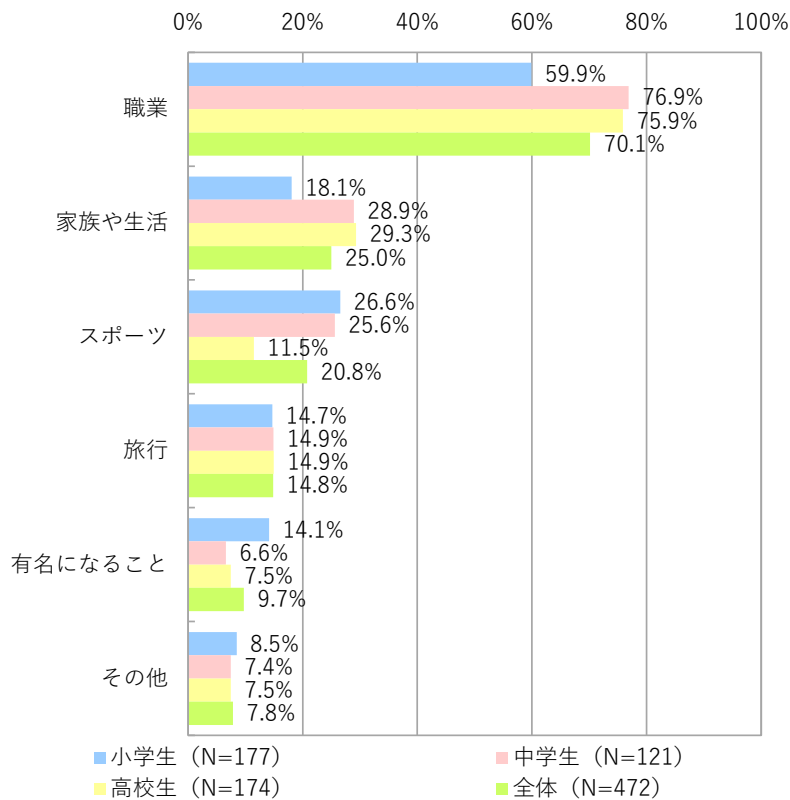


- ・「夢を持っている」と答えた人が66.5%を占めています。夢の内容は、全体では「職業」が70.1%をしめ、多いものから順に「職業」、「家族や生活」、「スポーツ」です。

図表 13 夢の有無

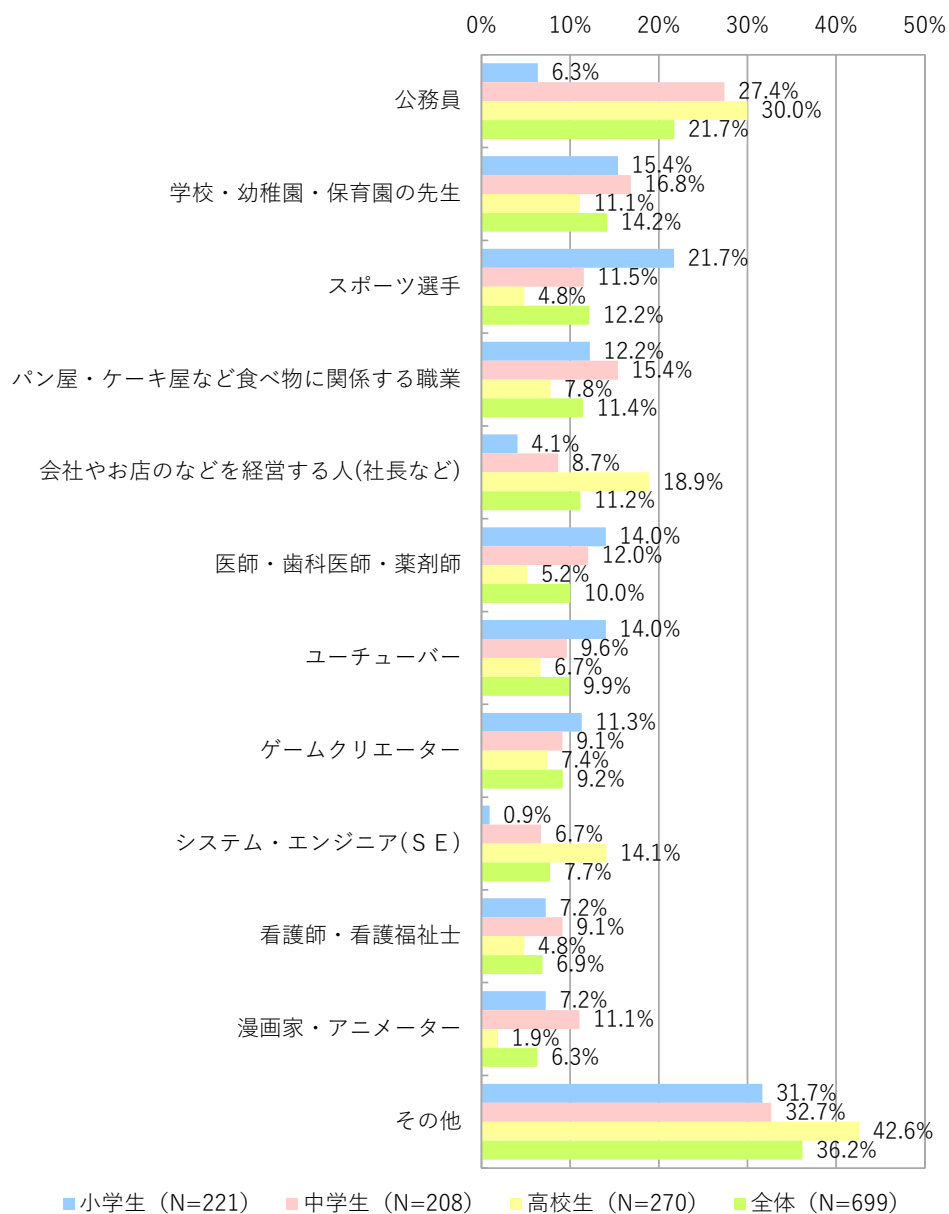


図表 14 夢の内容



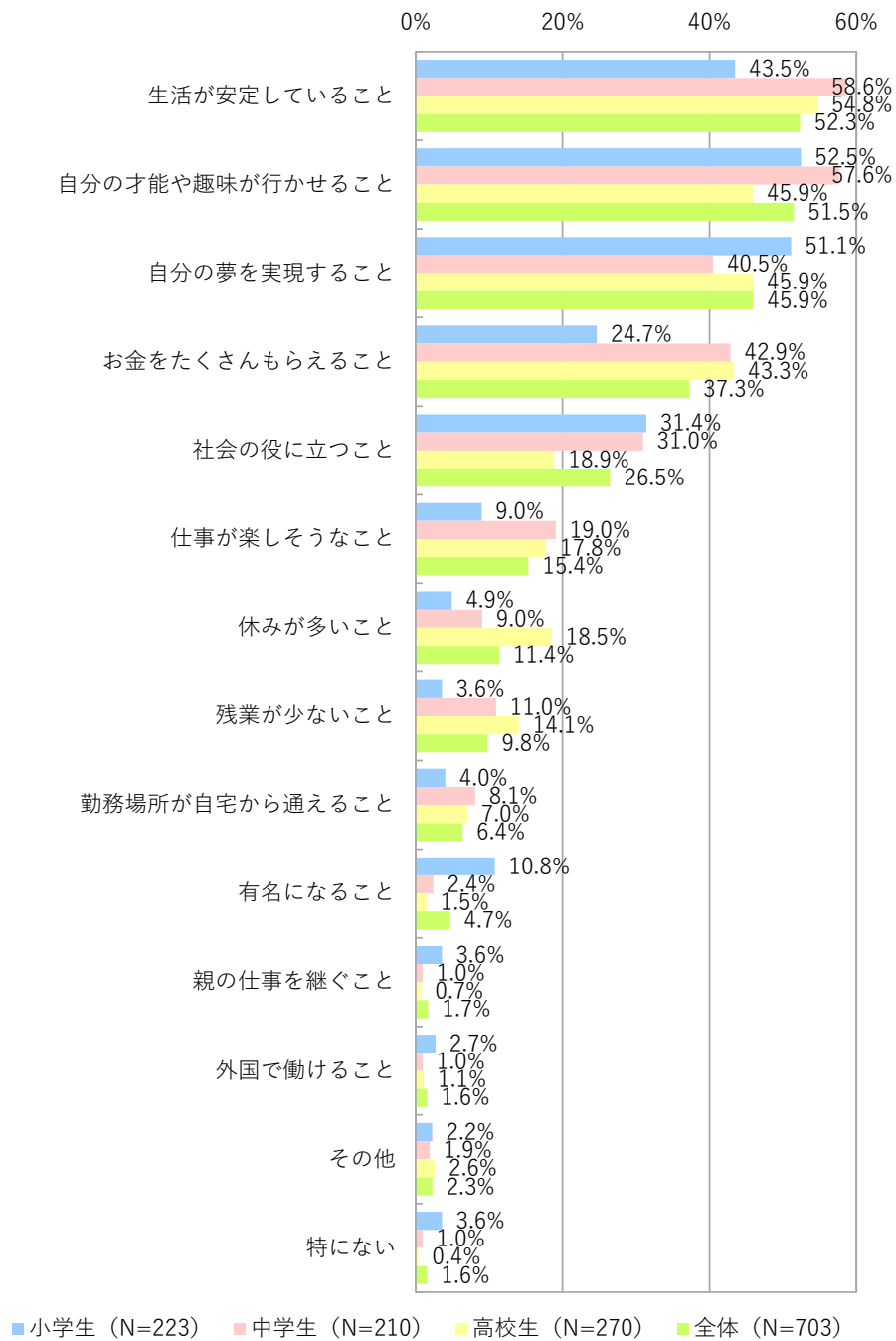
- ・将来の仕事は、多いものから順に「公務員」、「学校・幼稚園・保育園の先生」、「スポーツ選手」です。

図表 15 将来の仕事



- ・将来の仕事をきめる時に重要だと思うこととして、半数以上の人を選んでいるのは「生活が安定していること」、「自分の才能や趣味が活かせること」です。

図表 16 将来の仕事を決める時に重要だと思うこと



② 社会・地域との関わり

- ・ 青少年、保護者ともに9割以上が「社会のために役立つことをしたい」「金沢市が好きだ・どちらかといえば好きだ」と答えており、地域貢献の気持ちや地域への愛着心が育まれています。
- ・ 全国値と比較すると、金沢市の方が社会貢献やボランティア活動への興味が高い結果となっています。
- ・ 保護者の約9割が「青少年へのあいさつを必ずする・時々する」、「地域での助け合いは必要である・どちらかといえばそう思う」と答えており、地域とのつながりを積極的に進めています。
- ・ ボランティア活動については、青少年、保護者ともに約6割が「興味ある・どちらかといえば興味ある」と答えています。

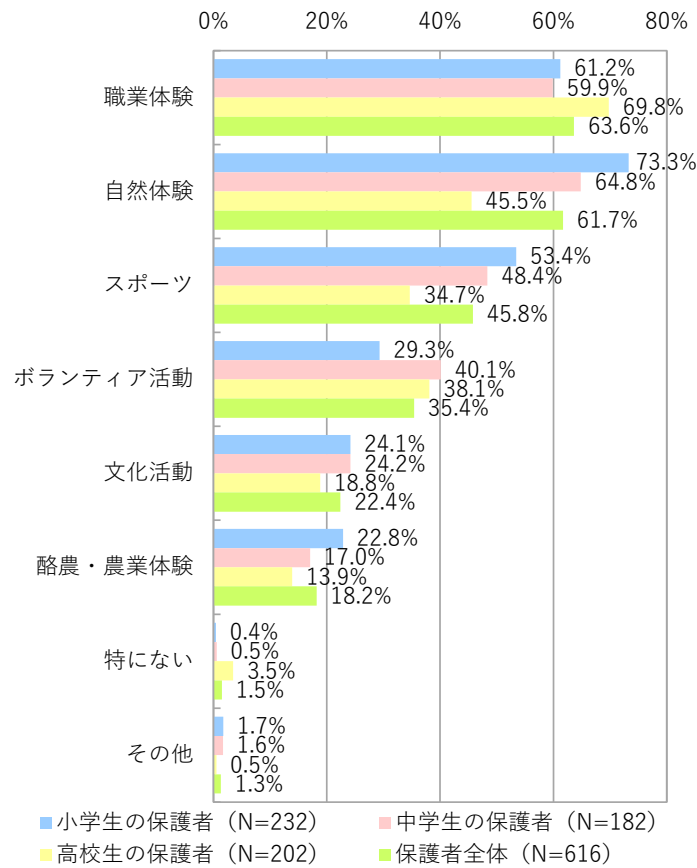
図表 17 社会・地域との関わり

	青少年 (全国値)	保護者
社会のために役立つことをしたい 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」割合	90.9% (88.6%)	93.3%
ボランティア活動への興味 「興味ある」、「どちらかといえば興味ある」割合	58.6% (54.3%)	58.1%
金沢市（あるいは住んでいる地域）について 「好きだ」、「どちらかといえば好きだ」割合	93.4%	91.9%
青少年へのあいさつ 「必ずする」、「時々する」割合	—	88.7%
地域の行事に参加したい 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」割合	—	69.5%
地域での出来事への関心がある 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」割合	—	73.4%
地域での助け合いは必要である 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」割合	—	93.7%
地域での付き合いは多い 「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」割合	—	52.5%
子どもが参加した地域行事	—	地域のお祭り 64.4%、子ども会やスポーツ団体の行事 56.4%、地域の清掃や廃品回収 47.7%

③ 保護者が子どもに望む体験

- ・保護者の6割が、子どもに、「職業体験」と「自然体験」を体験してほしいと考えており、3割以上の保護者が選んでいるのは、「スポーツ」、「ボランティア活動」です。
- ・「自分の子どもに「してほしい・体験してほしい」こと」は、「職業体験」(63.6%)が最も多く、次いで「自然体験」(61.7%)です。3割以上の保護者が「してほしい・体験してほしい」と思っていることは、「スポーツ」(45.8%)、「ボランティア活動」(35.4%)です。

図表 18 自分の子どもに「してほしい・体験してほしい」こと



④ 青少年の実態について

- ・ 青少年の放課後の過ごし方は、1位：ゲーム（51.7%）、2位：インターネット（メール、SNS、動画など）（50.1%）、3位：友だちと過ごす（42.0%）です。
- ・ 居場所別の「ほっとできる」割合は、自分の部屋：72.9%、自分の家（親せきの家を含む）：64.6%、学校：24.5%、地域（図書館や児童館や公園、塾や習い事の場所、現在住んでいる周辺など）：34.0%、インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）：37.8%で、「学校」が最も低くなっています。全国値と比較すると、金沢市の方が「ほっとできる」割合が高い居場所は、「自分の部屋」、「地域」です。
- ・ 「家族・親せき」、「学校や塾や習い事などで出会った友だち」、「地域の人（近所の人、習い事やスポーツ・文化活動での先生など）」に、「相談できるか」、「こまった時に助けてくれるか」、「本音を話せるか」、「好きなことや趣味を話せるか」について聞いたところ、「家族・親せき」、「学校や塾や習い事などで出会った友だち」には、約7割以上が、相談や助けてもらったり、本音や好きな事や趣味について話しすることができるかと答えています。「地域の人」には、「相談できる」と「本音を話せる」と答えた人が5割以下になっています。金沢市では、地域の人に「こまったときは助けてくれる・どちらかといえば助けてくれる」と考えている青少年が全国値よりも17.8ポイント高い結果となっています。

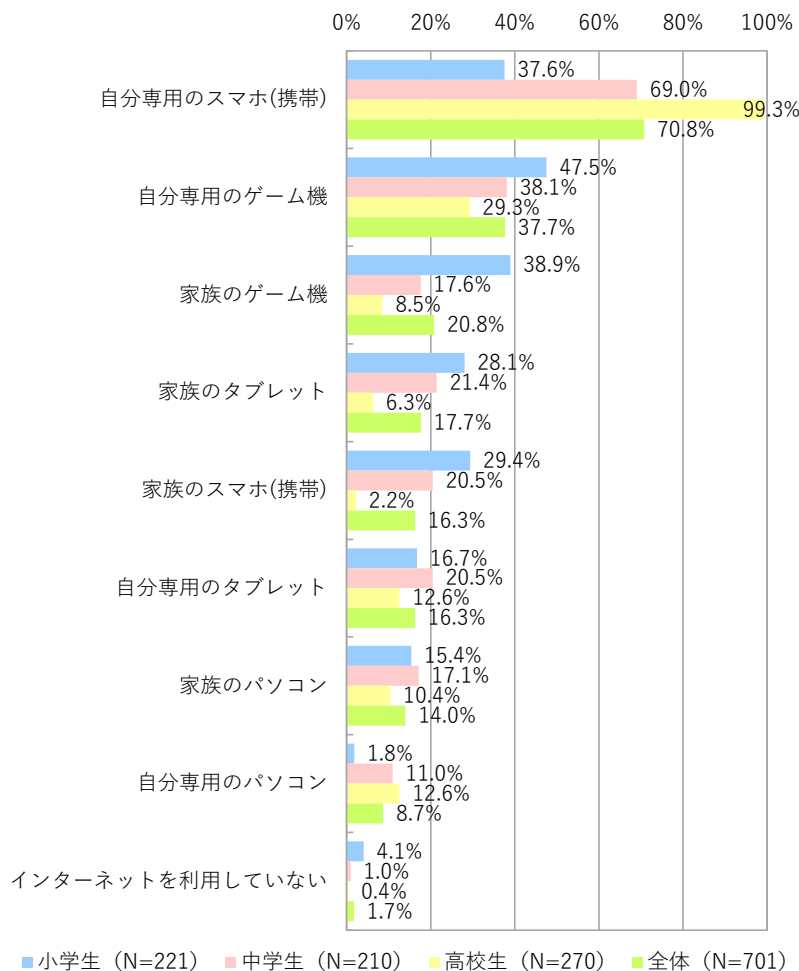
図表 19 青少年の放課後の過ごし方

項目	回答
放課後や休みの日の過ごし方	1位：ゲーム（51.7%） 2位：インターネット（メール、SNS、動画など）（50.1%） 3位：友だちと過ごす（42.0%）
ほっとできる割合 「ほっとできる」割合（全国値）	○自分の部屋：72.9%（67.9%） ○自分の家（親せきの家を含む）：64.6%（70.7%） ○学校：24.5%（40.5%） ○地域（図書館や児童館や公園、塾や習い事の場所、現在住んでいる周辺など）：34.0%（28.2%） ○インターネット空間（SNS、YouTube やオンラインゲームなど）：37.8%（39.0%）
居場所別の関わり	
家族・親せきとの関わり （全国値）	「何でも悩みを相談できる・どちらかといえば相談できる」：83.9%（87.0%） 「こまったときは助けてくれる・どちらかといえば助けてくれる」：96.3%（96.0%） 「他の人には言えない本音を話せる・どちらかといえば話せる」：70.6%（77.0%） 自分の好きな事や趣味を話せる・どちらかといえば話せる：92.5%
学校や塾や習い事などで 出会った友だちとの関わり （全国値）	「何でも悩みを相談できる・どちらかといえば相談できる」：82.4%（83.1%） 「こまったときは助けてくれる・どちらかといえば助けてくれる」：95.3%（93.8%） 「他の人には言えない本音を話せる・どちらかといえば話せる」：70.0%（75.4%） 自分の好きな事や趣味を話せる・どちらかといえば話せる：94.4%
地域の人（近所の人、習い 事やスポーツ・文化活動で の先生など）との関わり （全国値）	「何でも悩みを相談できる・どちらかといえば相談できる」：45.4%（44.0%） 「こまったときは助けてくれる・どちらかといえば助けてくれる」：83.4%（65.6%） 「他の人には言えない本音を話せる・どちらかといえば話せる」：31.9%（34.4%） 自分の好きな事や趣味を話せる・どちらかといえば話せる：70.0%

⑤ インターネットについて

- ・インターネットを2時間以上利用している生徒の割合は、小学生で約5割、中学生で約6割、高校生で約7割です。（図表21）
- ・「インターネットを利用しているのトラブル」は、「あてはまることはない」が小学生で約9割、中学生で約7割、高校生で約6割です。（図表22）
- ・中学生・高校生ともに、最も多いトラブルは、「インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりしたことがある」（中学生18.4%、高校生28.4%）です。（図表23）
- ・「家庭でのインターネット利用のルール」が「ある」と答えたのは、中学生で約7割、高校生で約3割、保護者で約7割です。（図表24）
- ・保護者の「青少年のインターネット利用に関する心配」は、「勉強に集中できない」が最も多く約5割、次いで「睡眠不足になる」約5割です。3割以上の保護者が選んでいるのは、「インターネットからの情報をうのみにすること」（34.8%）です。（図表26）
- ・「インターネットの利用」手段は全体の70.8%が「自分専用のスマホ（携帯）」、37.7%が「自分専用のゲーム機」です。

図表 20 インターネットの利用手段



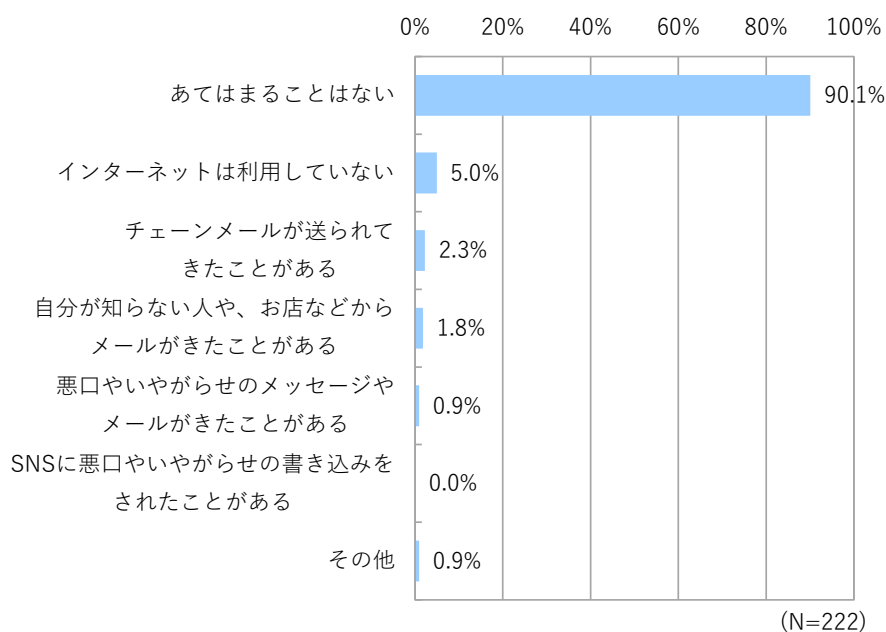
- ・「インターネットの利用時間」は、最も多いのが「3時間以上」（33.2%）、次いで「2時間以上3時間未満」（26.1%）、「1時間半以上2時間未満」（19.2%）で、2時間以上が59.3%を占めます。
- ・インターネットを2時間以上利用している生徒の割合は、小学生45.6%、中学生59.5%、高校生70.6%です。

図表 21 インターネットの利用時間

	小学生 (N=226)	中学生 (N=212)	高校生 (N=272)	全体 (N=710)
30分未満	7.5%	3.3%	0.4%	3.5%
30分以上1時間未満	9.7%	7.1%	1.8%	5.9%
1時間以上1時間半未満	13.3%	11.8%	7.0%	10.4%
1時間半以上2時間未満	19.9%	17.5%	19.9%	19.2%
2時間以上3時間未満	23.5%	32.1%	23.5%	26.1%
3時間以上	22.1%	27.4%	47.1%	33.2%
インターネットを利用していない	4.0%	0.9%	0.4%	1.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

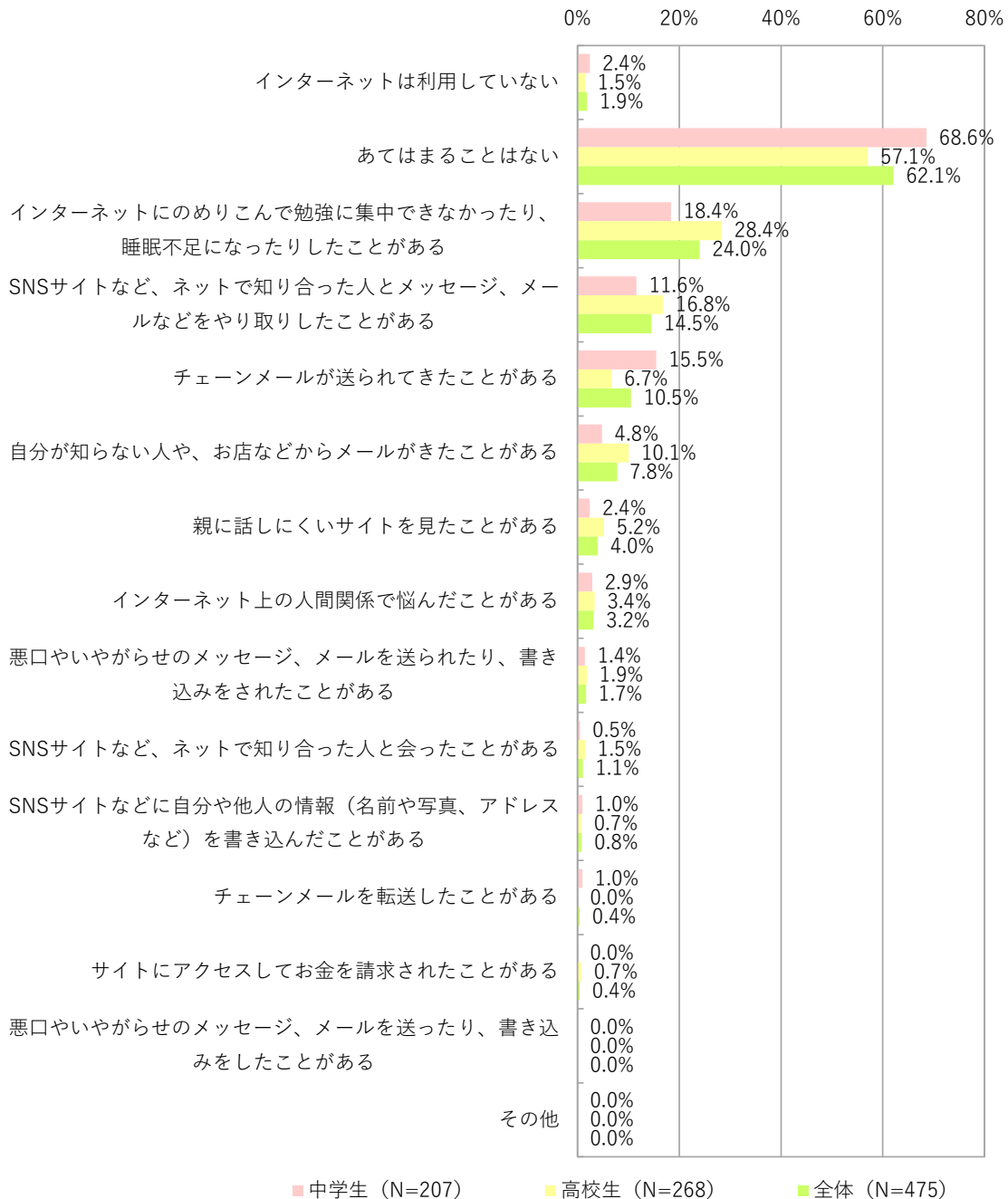
- ・「インターネットを利用しているのトラブル」については、小学生は90.1%、中学生は68.6%、高校生は57.1%が「あてはまることはない」と回答しています。

図表 22 インターネットを利用しているのトラブル（小学生）



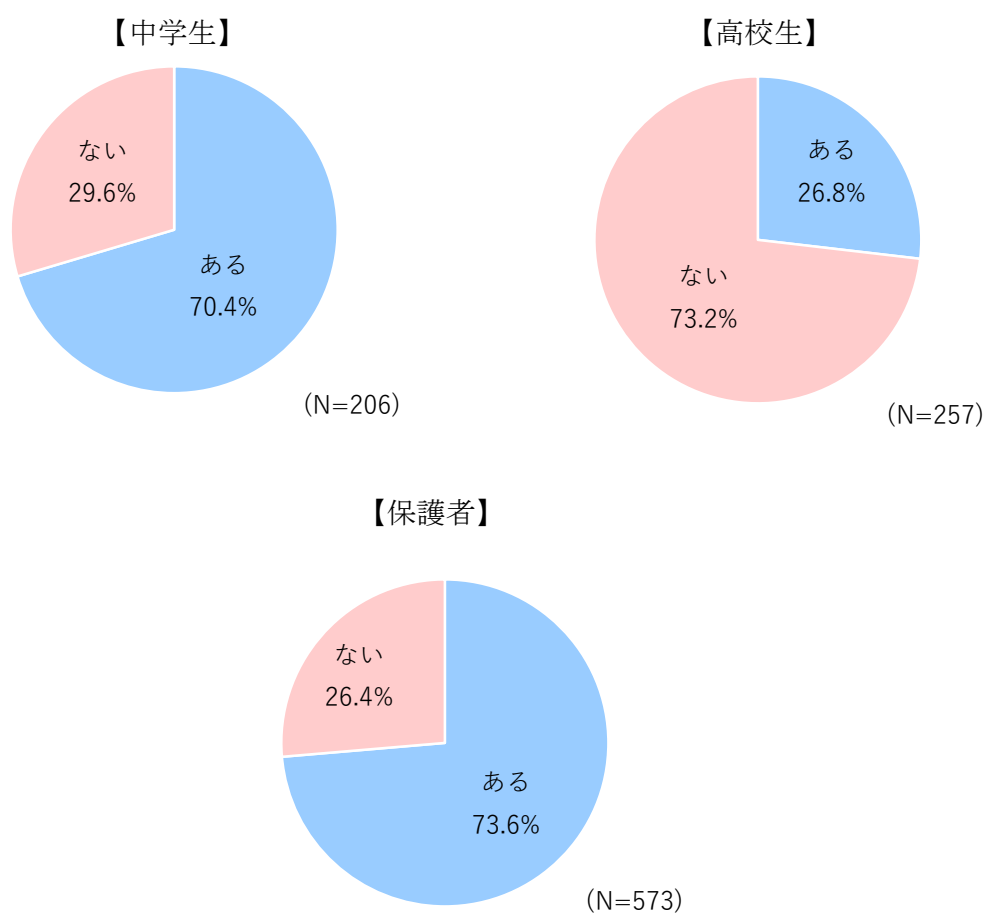
- ・中学生・高校生ともに、最も多いトラブルは、「インターネットにのめりこんで勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になつたりしたことがある」(中学生 18.4%、高校生 28.4%)です。

図表 23 インターネットを利用しているのトラブル（中・高校生）



- ・「家庭でのインターネット利用のルール」が「ある」と答えたのは、中学生は 70.4%、高校生は 26.8%、保護者 73.6%です。

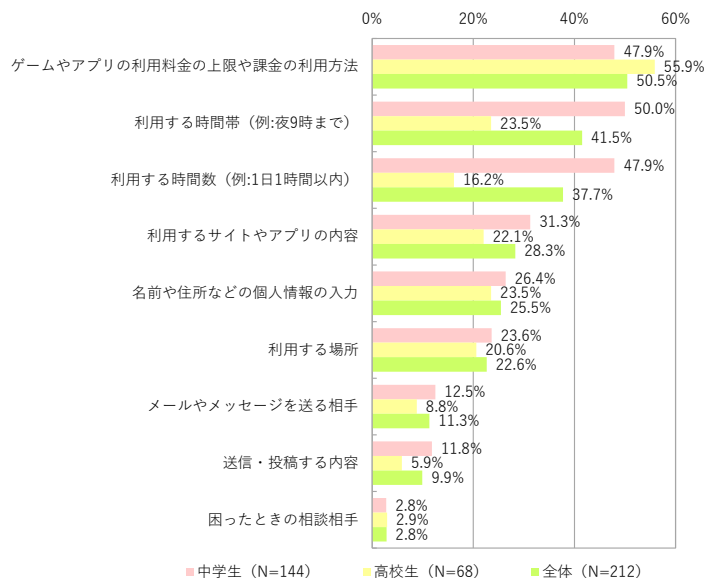
図表 24 インターネット利用のルール有無（中・高校生・保護者）



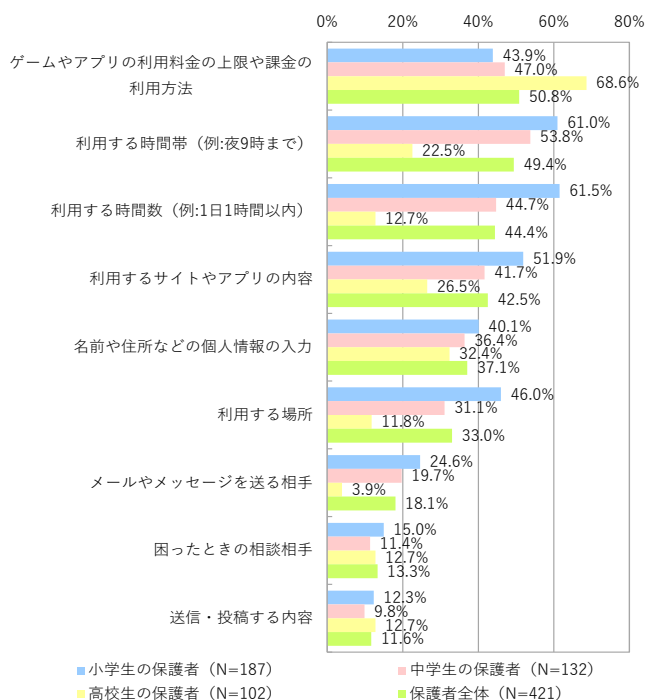
- ・ ルールの内容の上位3位は、中学生は「利用する時間帯（例：夜9時まで）」（50.0%）、
「利用する時間数（例：1時間以内）」（47.9%）、「ゲームやアプリの利用料金の上限
や課金の利用方法」（47.9%）です。高校生では、「ゲームやアプリの利用料金の上限
や課金の利用方法」（55.9%）、「利用する時間帯」（23.5%）、「名前や住所などの個人
情報の入力」（23.5%）です。保護者では、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課
金の利用方法」（50.8%）、「利用する時間帯（例：夜9時まで）」（49.4%）、「利用
する時間数（例：1時間以内）」（44.4%）です。

図表 25 インターネット利用のルールの内容（中・高校生・保護者）

【中学生・高校生】

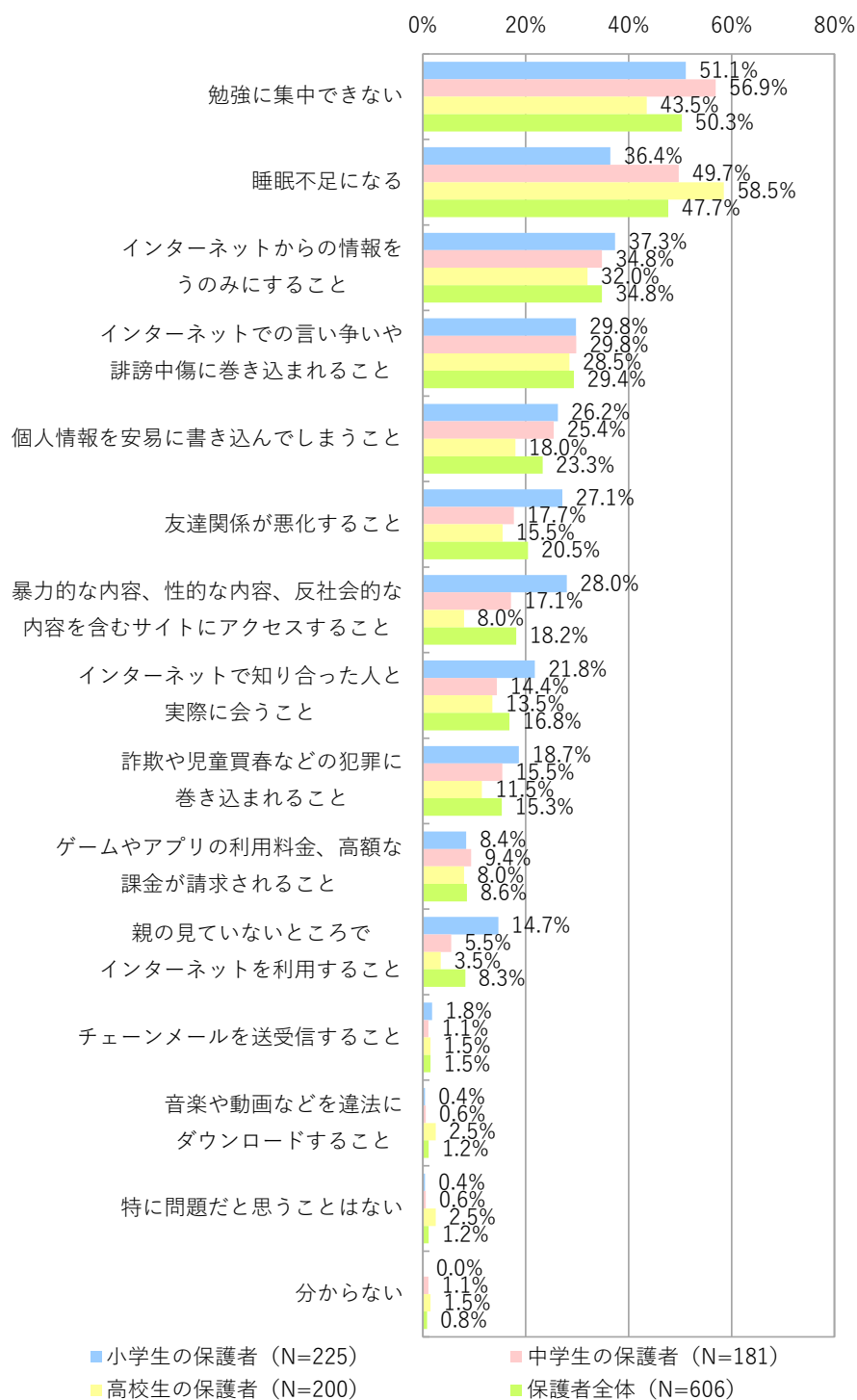


【保護者】



- ・保護者の「青少年のインターネット利用に関する心配」は、「勉強に集中できない」が最も多く50.3%、次いで「睡眠不足になる」47.7%です。3割以上の保護者が選んでいるのは、「インターネットからの情報をうのみにすること」（34.8%）です。

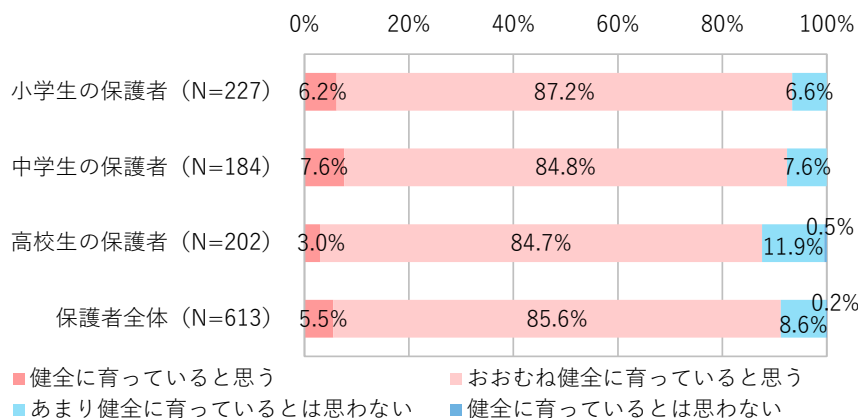
図表 26 インターネット利用に関する心配（保護者）



⑥ 青少年の育成について（保護者）

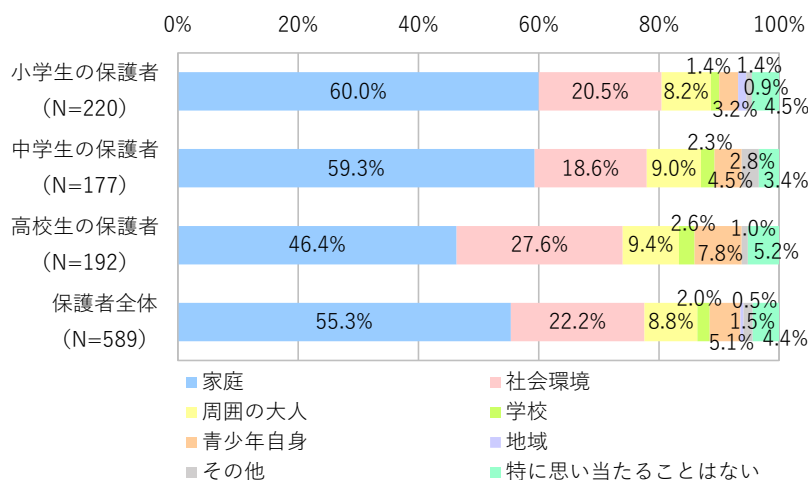
- ・「金沢市の青少年の健全な育成」については、約9割の保護者が「健全に育っていると思う・おおむね健全に育っていると思う」と答えています。（図表27）
- ・「青少年問題の一番の要因」は、「家庭」が最も多く約5割を占め、次いで「社会環境」が約2割を占めます。（図表28）
- ・「家庭の中での問題」は、約7割が「家族のふれ合いや会話が不足していること」をあげ、約3割以上の保護者があげているのは、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」、「過保護であること」、「便利な生活を求めすぎること」です。（図表29）
- ・「地域社会・地域の大人のあり方での問題」は、約5割が「近所づきあいを避ける大人が多くなったこと」をあげ、3割以上の保護者があげているのは、「地域に青少年の居場所、遊び場が少ないこと」、「青少年に無関心な大人が多くなったこと」、「規範意識や言葉遣いの乱れた大人が多くなったこと」、「地域の行事に参加する大人が少なくなったこと」です。（図表30）
- ・「青少年を取り巻く環境での問題」は、約7割が「携帯電話やパソコンなどで直接顔を合わせない付き合いができること」をあげ、3割以上の保護者があげているのは、「青少年に悪影響を及ぼすようなテレビ番組やインターネット動画が多いこと」、「世の中の価値観（何が正しくて、何が悪いのか）が乱れていること」です。（図表31）
- ・「健全な青少年を育成するために必要な取組」は、約6割が「自己形成（生活習慣・生きる力・学力などの育成）のための支援」をあげ、3割以上の保護者があげているのは、「困難な状況（ニート、ひきこもり、不登校、障がい、貧困等）ごとの取組」、「子ども・若者の被害（虐待、犯罪）防止・保護」です。（図表32）
- ・「金沢市の青少年の健全な育成」については、「健全に育っていると思う」「おおむね健全に育っていると思う」が保護者の91.1%を占めています。

図表 27 金沢市の青少年の健全な育成



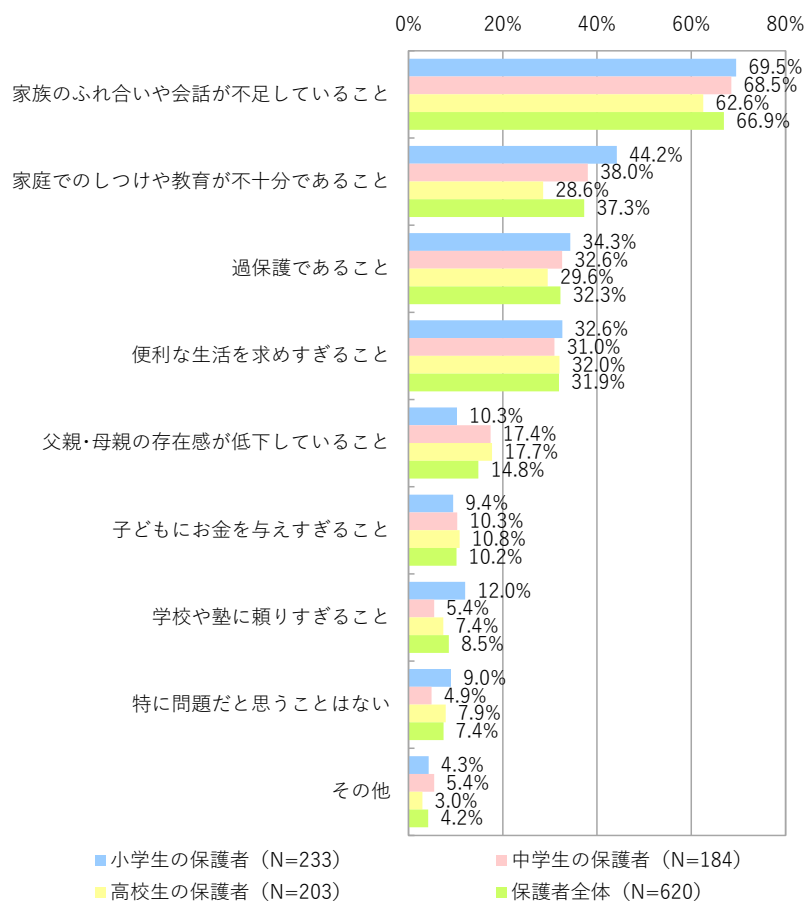
- ・「青少年問題の一番の要因」は、「家庭」が最も多く 55.3%を占めます。次いで「社会環境」が 22.2%です。

図表 28 青少年問題の一番の要因



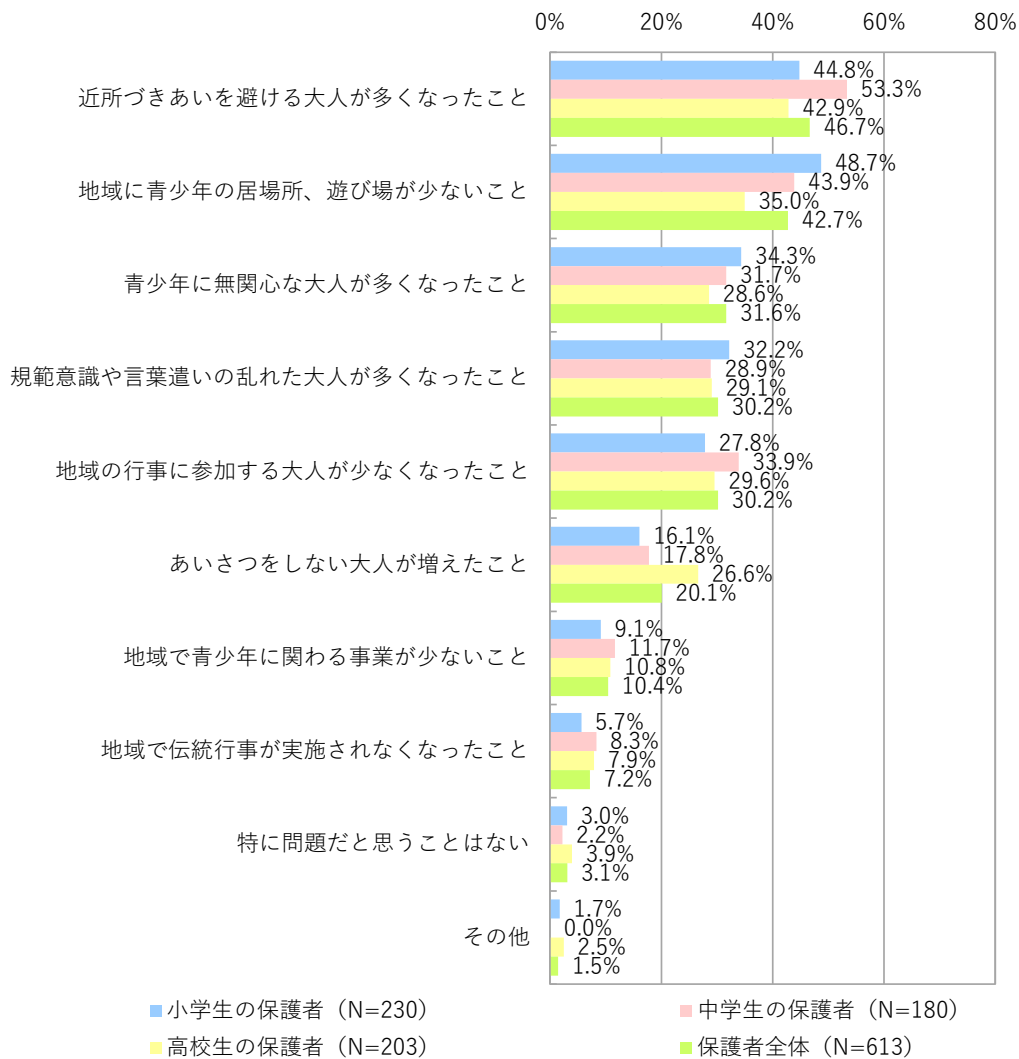
- ・「家庭の中での問題」は、「家族のふれ合いや会話が不足していること」(66.9%)が最も多く、3割以上の人があげているのは、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」(37.3%)、「過保護であること」(32.3%)、「便利な生活を求めすぎること」(31.9%)です。

図表 29 家庭の中での問題



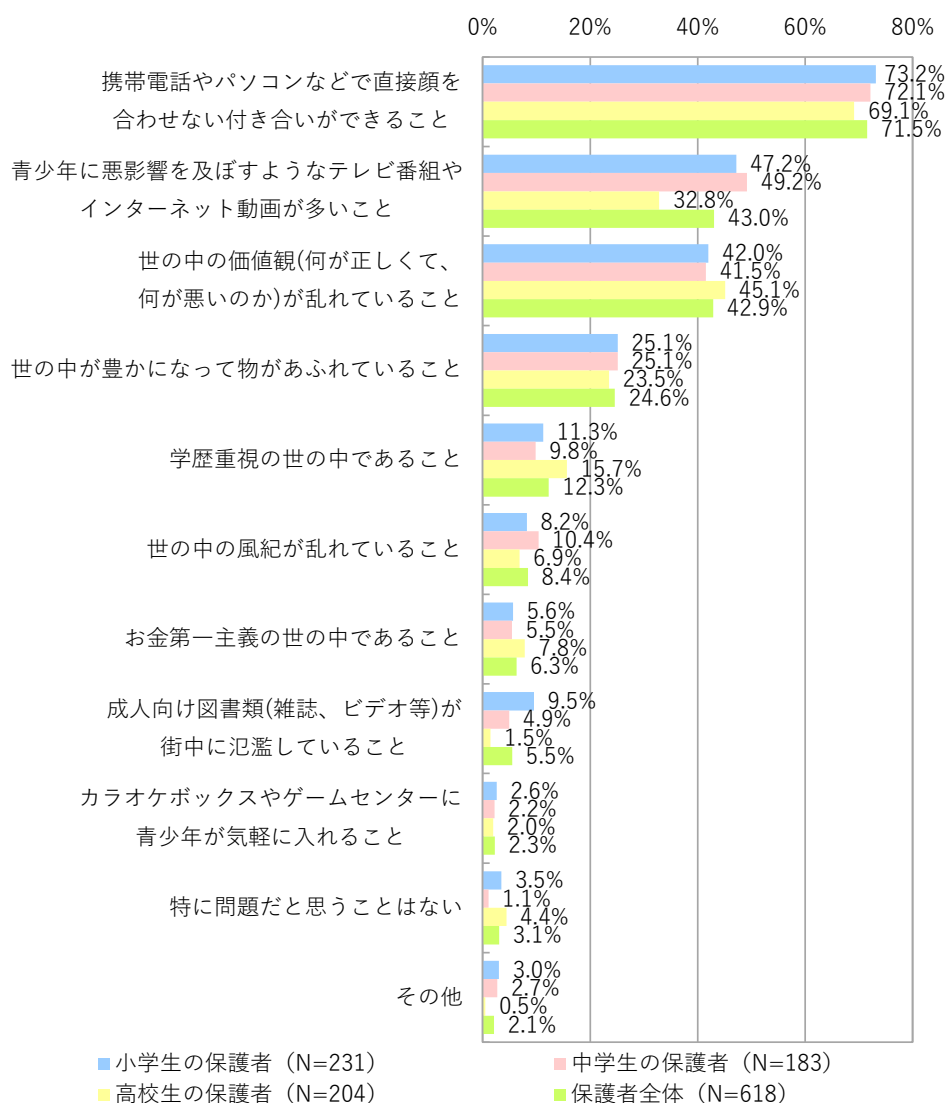
- ・「地域社会・地域の大人のあり方での問題」は、「近所づきあいを避ける大人が多くなったこと」（46.7%）が最も多く、3割以上の人があげているのは、「地域に青少年の居場所、遊び場が少ないこと」（42.7%）、「青少年に無関心な大人が多くなったこと」（31.6%）、「規範意識や言葉遣いの乱れた大人が多くなったこと」（30.2%）、「地域の行事に参加する大人が少なくなったこと」（30.2%）です。

図表 30 地域社会・地域の大人のあり方での問題



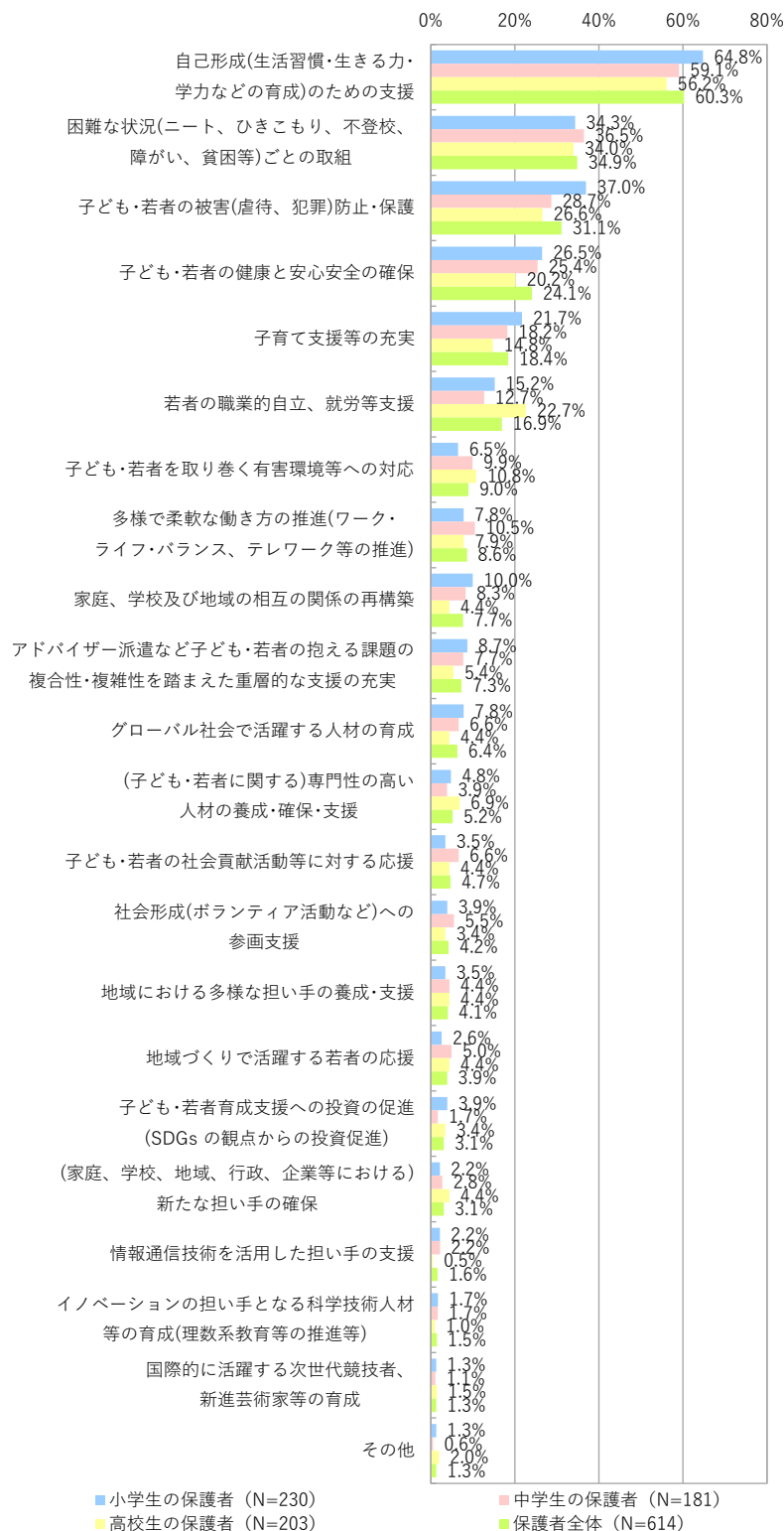
- ・「青少年を取り巻く環境での問題」については、「携帯電話やパソコンなどで直接顔を合わせない付き合いができること」(71.5%)が最も多く、3割以上の人があげているのは、「青少年に悪影響を及ぼすようなテレビ番組やインターネット動画が多いこと」(43.0%)、「世の中の価値観(何が正しくて、何が悪いのか)が乱れていること」(42.9%)です。

図表 31 青少年を取り巻く環境での問題



- ・「健全な青少年を育成するために必要な取組」は、「自己形成(生活習慣・生きる力・学力などの育成)のための支援」(60.3%)が最も多く、3割以上の方があげているのは、「困難な状況(ニート、ひきこもり、不登校、障がい、貧困等)ごとの取組」(34.9%)、「子ども・若者の被害(虐待、犯罪)防止・保護」(31.1%)です。

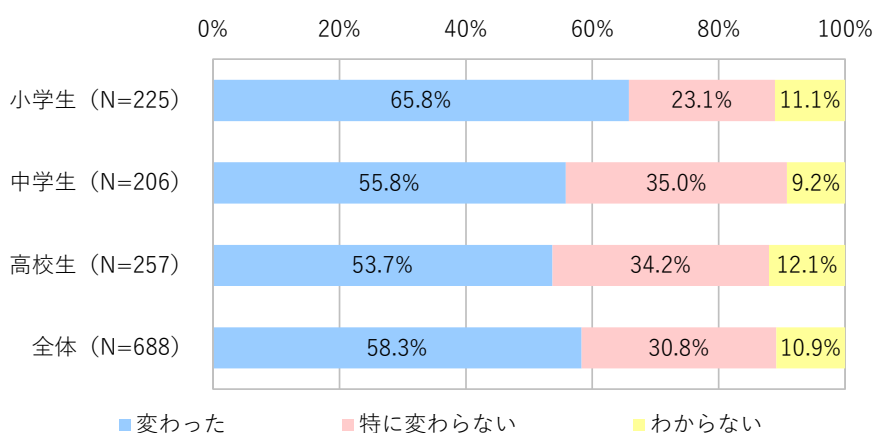
図表 32 健全な青少年を育成するために必要な取組



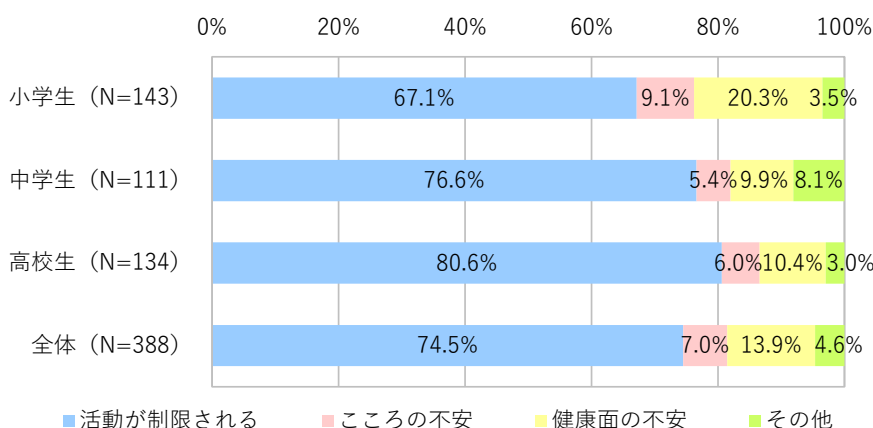
⑦ 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・「新型コロナウイルス感染症流行の影響」により生活が変わったと回答したのは、小学生で約7割、中学生で約6割、高校生で約5割、保護者で約7割です。変わった点は、「活動が制限される」が最も多く、小学生の約7割、中学生と高校生の約8割、保護者の約5割があげています。(図表33、34、35、36)
- ・「新型コロナウイルスとの共存」のため、もっとも重要なことは、「自分の健康」が最も多く、小学生と中学生の約5割、高校生の約6割があげています。保護者では1位が「家族とのつながり」、2位が「自分の健康」でそれぞれ約4割を占めます。(図表37、38)
- ・「新型コロナウイルスの流行の青少年育成への影響」については、保護者の約9割が「影響があった」と答えています。「影響があった点」は、「団体活動の減少」が最も多く約7割、次いで「精神面の不安」が約2割です。(図表39、40)
- ・「新型コロナウイルス感染症流行の影響」により生活が変わったと回答したのは、小学生65.8%、中学生55.8%、高校生53.7%、保護者73.6%です。変わった点は、「活動が制限される」が最も多く、小学生67.1%、中学生76.6%、高校生80.6%、保護者54.2%です。

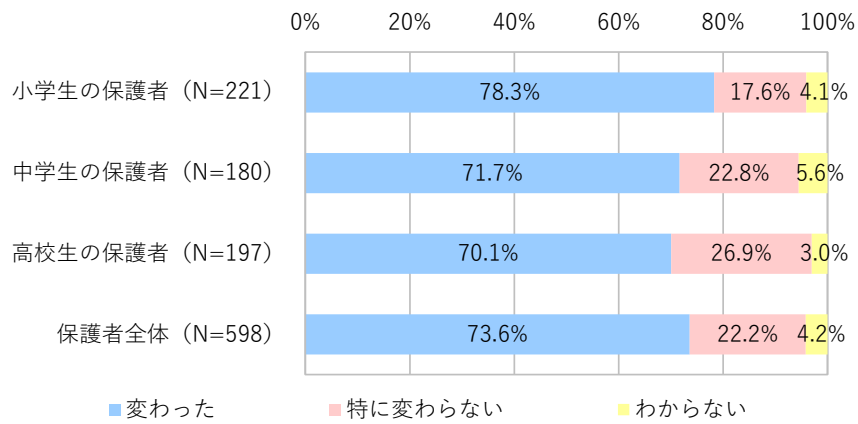
図表 33 新型コロナウイルス感染症流行の影響による生活の変化(小・中・高校生)



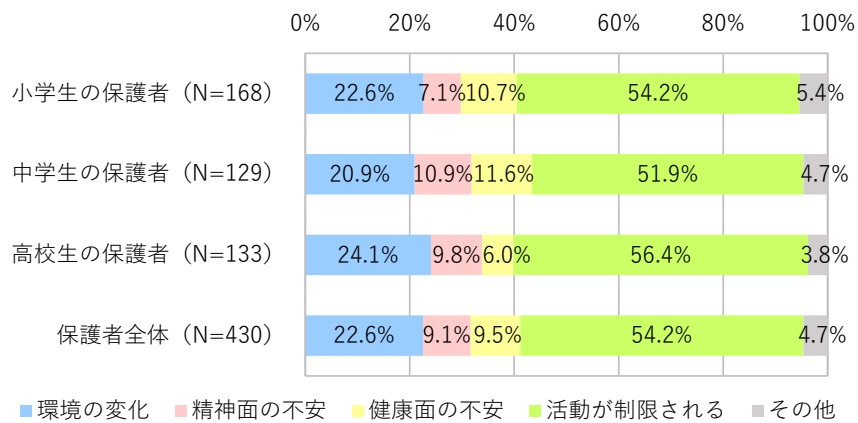
図表 34 新型コロナウイルス感染症流行の影響により変わった点(小・中・高校生)



図表 35 新型コロナウイルス感染症流行の影響による生活の変化（保護者）

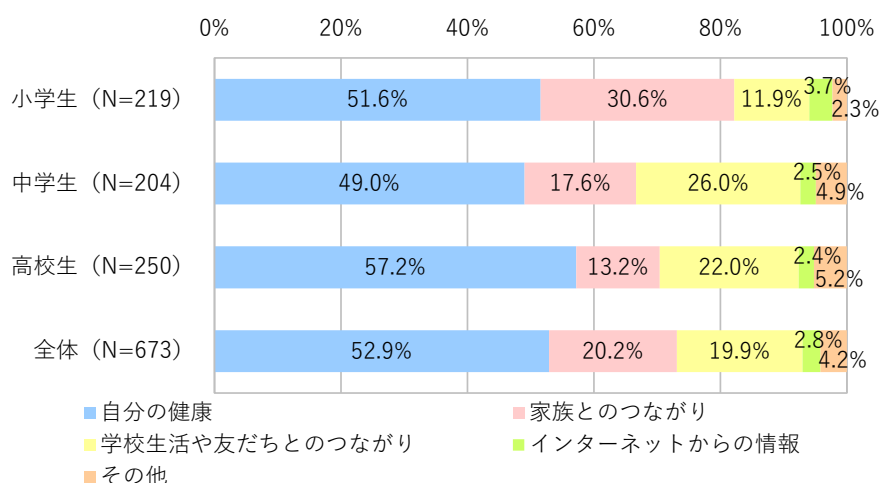


図表 36 新型コロナウイルス感染症流行の影響により変わった点（保護者）

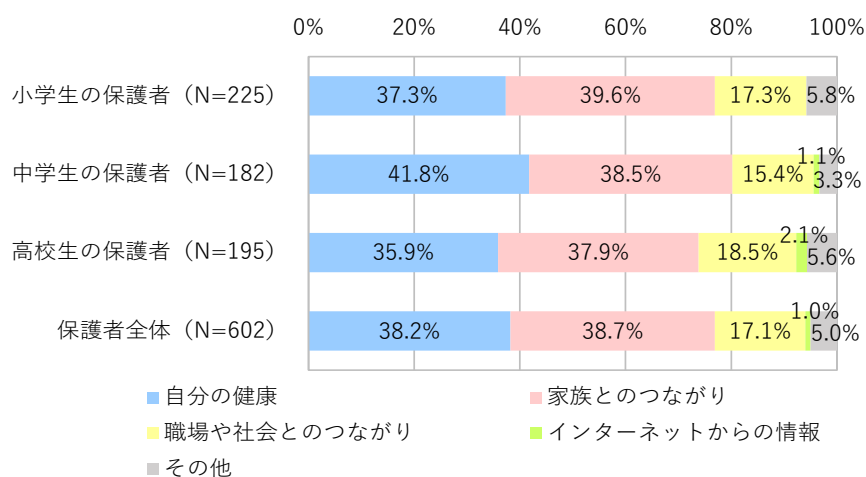


- ・「新型コロナウイルスとの共存」のため、もっとも重要なことは、「自分の健康」が最も多く、小学生 51.6%、中学生 49.0%、高校生 57.2%です。保護者では「家族とのつながり」が最も多く 38.7%、「自分の健康」が 38.2%です。

図表 37 新型コロナウイルスとの共存のため、もっとも重要なこと(小・中・高校生)

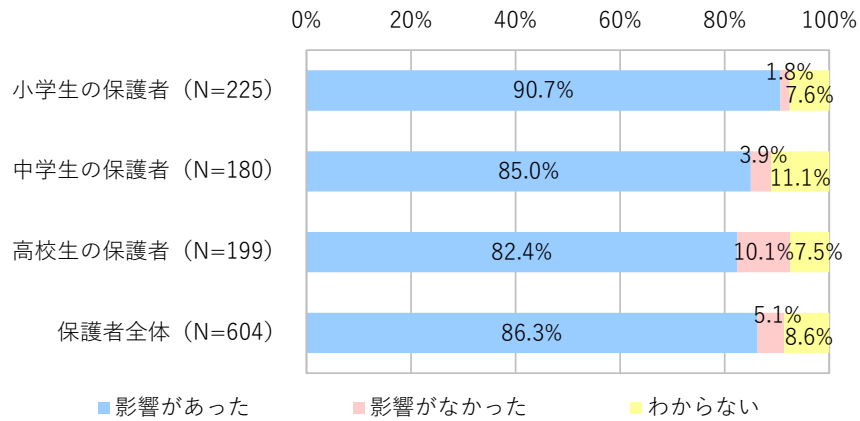


図表 38 新型コロナウイルスとの共存のため、もっとも重要なこと(保護者)

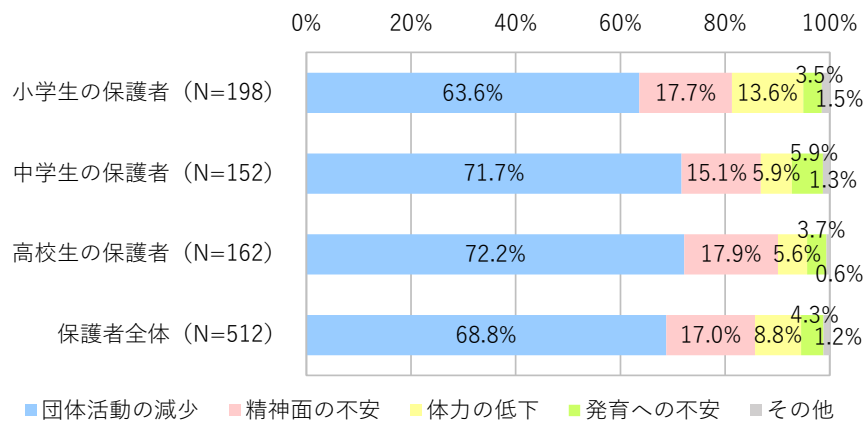


- ・「新型コロナウイルスの流行の青少年育成への影響」については、保護者の86.3%が「影響があった」と答えています。「影響があった点」は、「団体活動の減少」が最も多く68.8%、次いで「精神面の不安」が17.0%です。

図表 39 新型コロナウイルスの流行の青少年育成への影響の有無



図表 40 新型コロナウイルスの流行の青少年育成への影響の内容



3. 青少年を取り巻く課題

(1) 家庭をめぐる課題

令和4年8月から9月にかけて実施した「青少年に関するアンケート」（以下「アンケート」という。）結果では、本市の多くの保護者は、家族のふれあいや会話が不足していると回答しています。しかし、青少年の健全な成長のためには、家族のふれ合いや会話など家庭の果たす役割は大きいと考えられます。一方、青少年をめぐる家庭環境は、核家族化の進展、ひとり親世帯の増加、経済的に困難を抱えた状態にある家庭の増加等の変化が見られています。父母等の個人や家族のみが子育て・教育の責任を負うのではなく、青少年が心身ともに健やかに育成されるよう、地域社会全体で様々な環境にある家庭を支えていくことが必要です。

(2) 学校をめぐる課題

アンケート調査結果では、本市の学齢期の子どもたちにとって、居場所としての学校の安心感は全国値に比べて低い傾向にあります。学校は、子どもたちにとって、学びの場であるだけでなく、安心・安全な居場所・セーフティネットとなる重要な存在です。一方で、児童生徒の多様化、いじめ・暴力行為への対応等、学校の負担は年々増大しています。地域等による学校支援を充実させるとともに、地域の青少年が集うプラットフォーム（場）としての学校の特性を活かしつつ、青少年支援を推進していくことが必要です。

(3) 地域社会をめぐる課題

アンケート調査結果では、青少年・保護者ともに、地域への誇りや愛着、地域貢献への意欲が育まれていると同時に、あいさつや行事への参加等を通して地域との関わりが積極的な傾向にあります。また、青少年の健全な育成に向けて地域社会における大人が果たす役割も大きくなっています。今後も、地域社会と家庭、学校等が互いを理解し、支え合う、持続可能な連携・協働関係を確立し、地域社会が、家庭や学校とは異なる人間関係や様々な体験、居場所の提供等を通じて、青少年の健やかな成長に役割を果たしていくことが必要です。

(4) 情報通信環境をめぐる課題

アンケート調査結果では、インターネットを1日2時間以上利用する中高生の割合が過半数を占めており、また、高校生の約3割が、「インターネットにのめり込んで勉強に集中できなかつたり、睡眠不足になったことがある」と回答しています。インターネット利用の利点を拡大し、弊害を縮小していくことが求められています。

(5) 就業をめぐる課題

アンケート調査結果では、本市の多くの青少年は、自分の将来への希望を持ち、夢として具体的な職業を描くと同時に、職業選択において生活の安定や才能や趣味が活かせることを重視すると回答しています。青少年が自立し、社会で活躍するためには、就業と経済的基盤の構築が重要です。青少年が安心・納得して働き、その意欲や能力を存分に発揮していけるよう、困難な状態にある青少年の自立や社会参加に向けた支援を含め、総合的な取り組みの推進が必要です。

(6) その他（社会全体における課題）

少子高齢化による人口減少、地域コミュニティの希薄化、グローバル化の進展やICTの発展、新型コロナウイルス感染症の流行等、絶え間ない変化の時代において、青少年が幸せに幼年・若年期を健やかに過ごすことができ、自立して生き抜く基礎を形成できるよう、幼年・若年期を通じた自己形成（生活習慣・生きる力・学力等の育成）のための支援、自己肯定感の涵養、地域への誇りや愛着が必要です。

第3章 青少年育成の施策

第3章 青少年育成の施策

1. 基本理念

金沢の未来を担う健やかな青少年の育成 ～地域とともに成長できる環境づくりをめざして～

金沢市は、「犀川」と「浅野川」の二つの流れにより市街地が形成され、四季折々の自然とそれに培われた様々な歴史と文化が継承されており、幕藩時代より大きな戦災にも遭わず、現在も歴史的町並みが存在しています。加えて、多くの高等教育機関が集積する「学都」として学際色も豊かで、伝統と革新の両側面を有している地域特性があります。

次世代を担う青少年を育むため、これらの金沢の地域特性を活かしながら、多様な「人びと」との積極的な関わりを通じて、青少年が地域の中で成長できる環境をつくっていく必要があります。

本プランでは、社会環境の変化や青少年の現状・課題を踏まえつつ、金沢の未来を担う青少年が健やかに育つことができるよう、上記の基本方針を掲げ、社会が一体となって青少年の健全育成に取り組んでいきます。

2. 基本方針

I 全ての青少年の健全な育成と自立の促進

全ての青少年が、かけがえのない青少年期を健やかに過ごすことができるよう支援を行います。また、青少年が主体的に社会参画できる環境づくりや社会的自立に向けた支援体制の充実を図ります。

II 困難を有する青少年やその家族への支援

困難を有する青少年が希望を持って成長・活躍していけるよう、青少年やその家族に対して状況に応じたきめ細かな支援を行います。

III 青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備

家庭、学校、地域等が連携・協力しながら、青少年の成長・活躍できる居場所づくりや、また安心・安全の確保など、社会全体で支える環境の整備を推進します。

3. 施策の体系

基本理念	基本方針	施策の方向性	施策
金沢の未来を担う健やかな青少年の育成 地域とともに成長できる環境づくりをめざして	基本方針 I 全ての青少年の健全な育成と自立の促進	1 心と体の健やかな成長につながる活動の推進	○豊かな心と健やかな体の育成 ○スポーツや文化等の多様な体験活動の推進
		2 社会参画の推進と社会的自立の促進	○地域社会に主体的に参加する青少年の育成 ○社会の変化への対応力の育成 ○就労支援の充実 ○職業能力や意欲の習得の促進
		3 創造的な未来を切り拓く青少年への支援	○まちづくり等で活躍する青少年への支援 ○グローバル社会で活躍する青少年の育成
	基本方針 II 困難を有する青少年やその家族への支援	1 困難な状況に応じた支援	○生活に困難を抱える家庭への支援 ○ヤングケアラーへの対応 ○児童虐待や犯罪被害者等への支援 ○いじめや暴力行為への対応 ○障害のある子ども・若者への支援 ○若者無業者（ニート）やひきこもりへの支援 ○特に配慮が必要な子ども・若者への支援
		2 支援体制の充実	○支援につなげる体制の整備 ○関係機関のネットワークの連携強化 ○重層的な支援体制の推進
	基本方針 III 青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備	1 家庭、地域、学校における環境の整備	○青少年の居場所づくりの推進 ○地域と学校の協働の推進 ○家庭の教育力向上への支援
		2 青少年の安全・安心の確保	○有害環境の浄化活動の推進 ○青少年の非行・被害防止対策の推進
		3 青少年の成長を支える担い手の育成・支援	○青少年活動の活性化に向けた支援 ○地域の多様な担い手の育成・支援

4. 基本方針と指標

基本方針の達成度合いを押し量るため「重要業績評価指標（KPI）※1」を設定し、令和7年度の達成に向けて機動的に青少年育成施策を展開していきます。具体的には、本プランの最終年度である令和7年度に令和4年度と同様のアンケートを実施し、重要業績評価指標の目標値を確認していきます。

なお、各指標で記載した「現状値（R4）」及び「全国値」については以下のとおりです。

「現状値（R4）」・・・ 令和4年8月から9月にかけて本市が実施した「青少年に関するアンケート調査」の結果
 「全国値」・・・ 令和4年2月に内閣府が実施した「子供・若者の意識に関する調査」の結果

※調査対象や調査方法等については、いずれも、本プラン15ページ「2. 青少年と保護者の現状（1）青少年に関するアンケート調査概要」に記載してあります。

(1) 地域社会に主体的に参加したい青少年の状況を図る指標

基本方針Ⅰ 全ての青少年の健全な育成と自立の促進

指標1 ボランティア活動に興味がある児童生徒の割合

ボランティア活動への興味について「興味がある」、「どちらかといえば興味がある」と回答した割合

現状値（R4）	目標値（R7）
58.6% (全国値 54.3%)	62.0%※2

※1 重要業績評価指標（KPI: Key Performance Indicator）：施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

※2 全国値と比べ本市の値が高い場合及び全国データがない場合は、年1%ずつの上昇を目標とします。

指標2 地域への愛着心を持つ児童生徒の割合

金沢市（あるいは住んでいる地域）について「好きだ」、「どちらかといえば好きだ」と回答した割合

現状値（R4）	目標値（R7）
93.4% (全国値と比較データなし)	96.0% ^{※2}

(2) 青少年の安心できる居場所の状況を図る指標

基本方針Ⅲ 青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備

指標3 自分の関係する居場所で安心感を持つ児童生徒の割合

自分の家、学校、地域で「ほっとできる」と答えた割合

	現状値（R4）	目標値（R7）
自分の家	64.6% (全国値 70.7%)	71.0% ^{※3}
学校	24.5% (全国値 40.5%)	41.0% ^{※3}
地域 (図書館や児童館や公園、 塾や習い事の場所など)	34.0% (全国値 28.2%)	37.0% ^{※2}

※3 全国値と比べ本市の値が低い場合は、全国値を目標とします。

(3) 青少年が非行や問題行動等を起こすことなく、健全に生活している 状況を図る指標

基本方針Ⅲ 青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備

指標4 補導少年数

「補導少年数」（喫煙、飲酒、怠学及び家出をしている青少年のこと）の年間合計数

現状値（R3）	目標値（R7）
10件 （参考：ピーク時472件（H15））	5件

指標5 「愛の一声」少年数

「愛の一声」（二人乗りなどの自転車ルール違反、ゲームセンターへの出入り等をしている青少年への声掛けのこと）少年数の年間合計数

現状値（R3）	目標値（R7）
5,243件 （参考：ピーク時5,409件（H21））	5,500件

年度	補導	愛の一声	合計
R3	10	5,243	5,253
R2	9	4,911	4,920
R元	23	4,375	4,398
H30	37	4,414	4,451
H29	19	3,991	4,010

(4) 野外体験施設の利用ニーズを図る指標

基本方針Ⅲ 青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備

指標6 娯杉少年の森^{※4}・土子原こども野外広場^{※5}の利用人数(延べ人数)

現状値 (R4)	目標値 (R7)
娯杉少年の森 1,132人 (参考:新型コロナ前 2,139人(H30))	娯杉少年の森 2,200人
土子原こども野外広場 751人 (参考:新型コロナ前 2,393人(H30))	土子原こども野外広場 2,400人

図表 41 野外体験施設



娯杉少年の森(全体図)



土子原こども野外広場(全体図)



娯杉少年の森での親子キャンプの様子(左:テント設営 右:ドラム缶風呂)

※4 娯杉少年の森と土子原こども野外広場は、豊かな自然の中で自然観察や野外活動を通じて、青少年の「生きる力」を育む野外体験施設です。

※5 新型コロナウイルス感染症発症前(H30年)の利用実績を参考とし、目標を設定。

5. 施策の方向性・施策・関係事業

施策の方向性 I - 1 心と体の健やかな成長につながる活動の推進

全ての青少年が、心と体の健やかな成長を育むため、同年齢や異年齢の仲間、多様な大人と関わり合う自然体験や文化・芸術、スポーツ活動等、様々な体験活動の機会の充実を図ります。

施策 豊かな心と健やかな体の育成

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
1	かなざわ野外活動 リーダー育成事業 (令和5年度新規事業)	野外活動を担うリーダーを育成するためのアウトドア研修等を開催します。また、青少年団体が娯杉少年の森と土子原こども野外広場に求められる機能を検討・提案します。	青少年健全 育成センター
2	金沢少年の翼 国内派遣	大自然の雄大さ歴史・文化等を学び視野を広め、団体生活を通じて友愛・協調の心を養い、地域活動へ積極的に参加する次代を担う健やかな子どもの育成を目指します。	青少年健全 育成センター
3	娯杉少年の森・土子 原こども野外広場	自然観察、野外の集団宿泊体験等を通じて青少年の自主性や生きる力を育みます。	青少年健全 育成センター
4	親子キャンプ教室	娯杉少年の森キャンプ場を広く家族に開放し、自然や人とのふれあいを通して健全な青少年の育成を図ります。	青少年健全 育成センター
5	幼児、児童向けおは なし会	子どもが本や読書に自然と触れあえることを目的として開催します。	図書館 (玉川こども、泉野、海みらい)
6	兼六園周辺文化施設 等学生パスポート発 行事業	大学の新生を対象に、年間を通じて無料で27の歴史・文化施設を観覧可能とする「学パス」を、県・大学コンソーシアム石川と協働で発行します。	企画調整課

新

施策	スポーツや文化等の多様な体験活動の推進
----	---------------------

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
7	中学校金沢の文化鑑賞事業 (令和5年度新規事業)	市内の全ての中学生に、オーケストラや金沢素囃子等の芸術文化を体感してもらうことで、子どもたちの教養の幅を広げ、まちへの愛着を醸成していきます。	学校指導課
8	子どもアート工房モデル事業費 (令和5年度新規事業)	廃材等を遊びの素材として活用するアート工房を開設し、子どもの感性や創造性を育みます。	幼児教育センター
9	子ども体験活動支援事業	児童扶養手当受給世帯等の小学生を対象に、地元のプロスポーツ観戦及び体験型クーポンを配布し、多様な体験や活動の機会を通じて、子どもの情操を育みます。 改：令和5年度、スポーツ体験教室、科学実験・観察教室、自然体験・野外活動体験を追加します。	子育て支援課
10	かなざわスポーツフェスティバルの開催	多種目体験型のスポーツイベントを開催することにより、スポーツに親しむ機会の拡大を図ります。	スポーツ振興課
11	金沢工芸子ども塾	金沢のもつ工芸の伝統や人材を生かし、子どもの頃からものづくりの楽しさを体験させることを通じて、工芸の素質、素養を磨き、将来の一流の工芸作家の発掘と育成を図ります。	文化政策課
12	加賀宝生子ども塾	能楽が有する固有の文化性（美、礼節等）を人づくりに生かすとともに、すそ野拡大を目指すため、市指定無形文化財・加賀宝生を子どもたちに教えることにより、金沢の伝統文化を次代に引き継ぐ人材を育成します。	文化政策課
13	金沢素囃子子ども塾	金沢市無形文化財に指定されている金沢素囃子を子どもたちに教え、金沢の伝統文化を次代に引き継ぐとともにすそ野の拡大し、本市の伝統芸能の振興発展につなげます。	文化政策課

14	金沢・茶道子ども塾	伝統工芸や食文化等にまで広がりを持つ「金沢の茶道」を子どもたちが学び、体験することで、未来の茶道文化の担い手の育成を図ります。	文化政策課
15	職場体験学習の機会の提供・キャリア教育の推進	小学校から高等学校を通じたキャリアパスポートの作成を通じて、児童生徒が自ら学習状況やキャリア形成を自己評価し、自己実現につなぐとともに、学校・家庭・地域の連携による職場体験を実施します。	学校指導課
16	ものづくり体験教室	小学生を対象に工作教室を開催し、ものづくりに対する興味や関心を啓発します。	金沢市立工業高校
17	子どもマイスタースクール	職人の技術継承や後継者の育成をめざす塾の開催等を通して、物を大切にする心を育みます。	歴史都市推進課
18	学校体験農園指導事業	小学生に野菜作りを体験する機会を提供することで、豊かな心を育み、地域農業に対する理解を深め、あわせて将来の農業後継者の育成と、地域農業者の社会参加を図ります。	農業水産振興課
19	子どもの独創力育成事業	子ども達の独創的なアイデアを育むとともに、主体的な活動をサポートすることにより、将来を担う独創的で卓越した知識・技能を持つ人材を育成します。	産業政策課
20	子どもの森育推進事業費	子どもが里山等で森や木に親しむ体験学習教室を開催します。	森林再生課

施策の方向性 I-2 社会参画の推進と社会的自立の促進

地域のイベント等への参加により、地域に対する愛着心を深めるとともに、自主性や社会性及びボランティア精神を育み社会参画意識の醸成を図るとともに、参加を促進する環境づくりを行います。

また、産業・経済構造の変化や雇用形態の多様化が進む中、社会の変化に対応する力を育成し、就労支援の充実等の社会的自立への支援を推進します。

施策 地域社会に主体的に参加する青少年の育成

【主な取組・事業】

N o	事業名	内容	担当課
2 1	かなざわユースプロジェクト推進事業	青少年が地域の活動に主体的に参画したり、自主企画に取り組んだりすることで次代を担うリーダーの育成と地域活性化を図ります。 改:若者が中心のまちづくりを行う先進地への派遣研修を行います。	青少年健全育成センター
2 2	金沢ふるさと体験学習	金沢の歴史や文化を学ぶことができる見学・体験プログラムを組み合わせたツアーに参加してもらうことで、地元への愛着を深め、金沢の魅力を自ら発信できる人材の育成を図ります。	青少年健全育成センター
2 3	図書館ボランティア	市民ボランティアとして活動できる場所を提供し、学生と図書館との相互理解を促すとともに、学生との協働による図書館サービスの充実を図ります。	図書館 (玉川、海みらい)
2 4	学生ICT推進員の派遣	学生をICT推進員として登録し、町会等へ要請に基づき派遣し、町会活動等のICT化の推進及び地域コミュニティの活性化を図ります。	市民協働推進課

施策 社会の変化への対応力の育成

【主な取組・事業】

N o	事業名	内容	担当課
2 5	ICTを活用した教育の推進	学校における情報セキュリティを含めたICT環境を整備するとともに、児童生徒が「GIGAスクール構想」によって整備さ	学校指導課

		れた1人1台の学習用端末を教科等において主体的に活用できるよう取り組みます。 改：令和5年度、ICT支援員の派遣回数を増やすほか、ネットワーク回線の増速等通信環境を強化します。	
26	3R推進パートナーシップ事業	大学生や高校生が市と協力・連携し、ごみの減量や3Rの啓発活動を行うことにより、若い段階から環境問題に対して関心を持ち、自主的に行動できる人材の育成を目指します。	ごみ減量推進課
27	受動喫煙防止講座	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止」について、全小・中学校において、児童生徒や教員・保護者に対し、専門講師による講座を開催することで、健康教育の推進を図ります。	学校指導課
28	ものづくりSDGs推進人材育成事業費	工業高等学校として、「つくる責任」の立場から、「持続可能な消費と生産のパターン」を認識し、実社会に出たのちに「“もったいない”がないまち」づくりに取り組む素養を身につけるため、セミナー等を通じてSDGsへの関心を啓発します。	金沢市立工業高校

施策 就労支援の充実

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
29	未来の公共交通担い手育成事業 (令和5年度新規事業)	市内の路線バス運行を担う未来の運転士のために、年齢に応じた乗車体験会や業務説明会、運転士との交流会を促進します。	交通政策課
30	かなざわ就職フェア	人手不足が深刻化している市内企業の人材確保と雇用機会の拡大を図るため、ハローワーク金沢と連携し、就職フェア(面接会・相談会)を開催します。	労働政策課
31	若手保育士フォローアップ研修	若手保育士等を対象に研修を行い、業務に対する不安の軽減、モチベーションの維持、離職防止につなげます。	幼児教育センター

新

32	就労移行支援サービス	一般企業への就労希望者に、就労に必要な知識・能力の向上に必要な研修を実施し、支援します。	障害福祉課
33	生活困窮者就労準備支援	社会との関わりに不安がある、就労意欲が低い等の理由で、就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対して、就労に向けた準備としての基礎能力の形成からの支援を実施します。	生活支援課

施策 職業能力や意欲の習得の促進

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
34	ジュニア経営体験塾の開催 (令和5年度新規事業)	小中学生を対象とした経営体験塾を開催し、若年期からの経営意識を啓発します。	産業政策課
35	プログラミング教育活動推進事業	子どもの興味・関心・技術・技能等に合わせたプログラミング教室を開催し、子どもの主体性と対話力を育みます。	産業政策課
36	ものづくり技能向上事業	技能検定における資格の取得や各種高校生コンテストの競技を通して、生徒のものづくり技能の向上を図り、実社会で即戦力となる人材を育成します。	金沢市立工業高校
37	コマツ粟津工場等のバス見学ツアー	ものづくり企業の生産現場を見学してもらい、ものづくりをより身近に感じ、その魅力を知ること、次代を担うものづくり人材の育成を図ります。	商工業振興課
38	職業体験教室	夏休みに、製造業を中心に実際の仕事場で実際の内容に近い仕事を体験することにより、多様な産業を担う人材を育成します。	商工業振興課
39	エンジニア等の講師派遣	市立中学校にエンジニア等を講師として派遣し、ものづくり企業に対する理解を深め、次代を担うものづくり人材を育成します。	商工業振興課

新

施策の方向性 I-3 創造的な未来を切り拓く青少年への支援

ふるさとへの誇りや愛着を育むとともに、地域社会と関わり、地域の課題に関心を持つ機会を設ける等して、青少年がまちづくり等活躍できる環境づくりを推進します。

グローバル社会で活躍する青少年を育成するために、異文化や多様な価値観、我が国の伝統・文化への理解、英語等によるコミュニケーション等を培う教育等を推進し、グローバル社会で活躍できるよう支援を行います。

施策 まちづくり等で活躍する青少年への応援

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
40	大学連携地域力創造プロジェクト推進事業 (令和5年度新規事業)	県内の大学と連携し、まちづくりの課題解決に向けた実践型の授業を開設します。	企画調整課
	かなざわユースプロジェクト推進事業	再掲(I-2-施策『地域社会に主体的に参加する青少年の育成』)	青少年健全育成センター
41	協働のまちづくりチャレンジ事業	学生を含む市民活動団体等から行政の課題等に対する企画を公募、採用された事業を提案した団体に委託し、所管課と協働で事業を実施します。	市民協働推進課

新

施策 グローバル社会で活躍する青少年の育成

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
42	次世代和食料理人育成事業 (令和5年度新規事業)	料理技術の向上を目指す高校生に対し、プロの料理人による継続的なレクチャーを行い、次代を担う料理人を発掘・育成します。	産業政策課
43	かなざわグローバル人材育成セミナー	海外留学や国際分野の仕事に関心のある高校生や大学生を対象にセミナーを実施し、グローバル社会で活躍する人材の育成を図ります。	国際交流課 (国際交流財団)
44	次世代起業家育成事業	次世代で活躍する起業家の輩出をめざすため、高校生を対象に事業を実施し、起業家精神を養成します。	産業政策課
45	金沢IT部活事業	児童・生徒を対象とした高度な情報活用能力を育成する活動を推進します。	産業政策課

新

46	全日本高校生 WASHOKU グランプリ	全国の高校生を対象とした和食グランプリを開催し、次代を担う料理人を発掘・育成します。	産業政策課
47	姉妹校との交流	グローバル化を見据え、国際的な視野を持つ人材を育成するため、姉妹校（韓国全州工業高校）との交流を推進します。	金沢市立 工業高校
48	世界の絵本読み聞かせ会	在住外国人ボランティアによる世界の絵本の読み聞かせ会を開催し、絵本を通じた国際交流を推進し、国際文化の相互理解を高めます。	玉川こども 図書館

施策の方向性Ⅱ－1 困難な状況に応じた支援

生活に困難を抱えた家庭、ヤングケアラー、児童虐待、いじめ、ひきこもりなど様々な状況において、子ども一人ひとりの成長に応じたきめ細かい支援を行います。

施策 生活に困難を抱える家庭への支援

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
49	ひとり親世帯制服リユース事業	経済的に困窮しているひとり親家庭等を支援するため、不要となった制服を回収し、メンテナンスのうえ、希望者に無償提供します。 改：令和5年度、ひとり親世帯に加え、支援が必要な子育て世帯を対象により多くのリユース制服を届けるため、回収場所を増設します。	子育て支援課
50	子ども食堂	無料又は低額で食事を提供できる活動を定期的に行うことにより、子どもに地域で安心して過ごせる「子ども食堂」の実施を促進します。	子育て支援課
51	金沢市育英会奨学資金	保護者が市内に在住する高校生のうち、学業が優れ又は文化・スポーツ活動に熱心に取り組み、経済的に就学が困難な生徒に対し、奨学金を支給します。	子育て支援課
52	学習支援教室	子どものいる生活保護受給世帯や生活困窮世帯に対し、進学と卒業の重要性を理解さ	生活支援課

改

		せるとともに、基礎学力の向上を図ることにより、学習習慣の定着を支援します。	
53	女性安心生活支え合い支援事業	経済的な理由で生理用品を購入できない市民に対し、生理用品を無償配布するなど、様々な困難・課題を抱える女性を支援します。	ダイバーシティ人権政策課

施策 ヤングケアラーへの対応

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
54	支援体制の構築 (令和5年度新規事業)	ヤングケアラーの負担軽減を図るため、家事支援ヘルパーを派遣します。また、ヤングケアラーの正しい理解を周知するために、関係機関や市民を対象とした研修会・講演会を実施します。	こども相談センター

新

施策 児童虐待や犯罪被害者等への支援

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
55	子育て支援の軽減に向けた支援	専門職員が、子どもや家庭が抱える様々な課題(児童虐待を含む)を十分に把握し福祉サービスの調整や心のケアなど子どもとその家族の日常生活が充実するよう総合的な支援を行います。	こども相談センター
56	児童虐待防止対策の強化	24時間体制で、児童虐待の早期発見・早期対応に取り組みます。	こども相談センター
57	DV被害者の子どもに対する支援	DV被害者の子どもに関して関係機関と連携して支援します。	ダイバーシティ人権政策課

施策 いじめや暴力行為への対応

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
58	ネットいじめ防止講演会	ネット上のいじめやトラブルを未然に防ぐため、児童生徒を対象とした専門家による講演会を実施します。	学校指導課

59	いじめに関するアンケート	市立小・中・高校の全児童生徒を対象に、いじめに関するアンケートを実施し、実態把握に努め、今後の取り組みにつなげていきます。	学校指導課
60	電話相談	いじめ相談やこども専用相談を設定し、匿名での相談に幅広く対応しています。必要に応じて、他の部局の相談事業や医療・教育・福祉の関係機関と連携します。	幼児教育センター
61	デートDV防止啓発の実施	市内全中学2年生にデートDV防止啓発ハンドブック・相談窓口カードを配布し、金沢市公式YouTubeにてデートDV防止啓発動画を公開します。	ダイバーシティ人権政策課

施策	障害のある子ども・若者への支援
-----------	------------------------

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
62	重症心身障害児・者移動支援事業	重症心身障害児・者の外出を支援することにより、社会参加の拡大や保護者・家族の負担軽減を図ります。	障害福祉課
63	医療的ケア児移動介護支援事業	医療的ケアが必要な児童が外出する際に、看護職員が医療的ケアを伴う移動介護を実施します。	障害福祉課
64	巡回専門相談事業	保育所等からの要請に基づき専門相談員を派遣し、特別な配慮が必要な児童の保護者や担当保育士等を支援します。	幼児教育センター
65	特別支援教育支援員・特別支援教育サポーター・学校看護師の派遣	特別な支援を要する児童生徒が在籍する場合に人材を派遣し、学校生活における支援を行います。	学校指導課
66	もぐもぐゴックン教室	管理栄養士と肢体不自由協会の連携により、咀嚼・嚥下に障害がある子どもを持つ保護者に対し、料理教室を実施し、情報交換や仲間づくり等の支援を行います。	学校教育センター
67	ぱちぱち絵本教室	専門家を招き、絵本を通じて障害のある子とその保護者のコミュニケーション教室を開催します。	学校教育センター

施策 若者無業者（ニート）やひきこもりへの支援

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
68	ひきこもり相談	保健師が、ひきこもり当事者やその家族からの個別相談に対応しています。	福祉健康センター (泉野・元町・駅西)
69	ひきこもりを考える講演会	市民に対し、ひきこもりに関する正しい知識の普及啓発を図るため、実施しています。	福祉健康センター (泉野・元町・駅西)
70	かなざわこころのポータルサイト	不登校、ひきこもり等の悩みを抱えている方々に寄りそう自助グループや相談窓口をまとめた情報サイトを開設しています。	福祉健康センター (泉野・元町・駅西)

施策 特に配慮が必要な子ども・若者への支援

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
71	日本語・学習支援教室	外国人児童・生徒に対し、校外で地域やボランティアと連携して、日本語・学習支援教室を通年で開催し、地域コミュニティとつながる環境づくりを行います。	国際交流課
72	生活相談	上記教室に通室する児童・生徒及びその保護者等からの日常生活や文化の違い等について相談を受け、日本人・外国人住民ともに暮らしやすい地域づくりを行います。	国際交流課
73	ゲートキーパー手帳	相談を受ける時のポイントや、相談先を記載した手帳を作成し、自殺予防対策に取り組んでいます。	福祉健康センター (泉野・元町・駅西)
74	LGBT相談	公認心理師等が、性的指向・性自認に関する悩み、家族や友人との関係等、個別の相談に対応します。	ダイバーシティ人権政策課

施策の方向性Ⅱ－２ 支援体制の充実

支援につなげる体制の整備や、関係機関のネットワークの構築、重層的な支援体制を推進し、支援体制の充実を図ります。

施策 支援につなげる体制の整備

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
75	ひとり親家庭等相談窓口の充実 (令和5年度新規事業)	相談者が安心して相談できるようプライバシーに配慮した窓口へ改修する等、相談窓口を充実させます。	子育て支援課
76	発達障害等児童生徒ICT利活用学習支援事業 (令和5年度新規事業)	ICT等を活用した読み書き支援プログラムの指導者を養成し、「読み」「書き」「計算」が困難な児童生徒の学びを支援します。	学校教育センター
77	子育てサロンの充実	公民館や地区児童館等で、未就学児の遊びの場を設け、親子のふれあいを深める遊び、親同士の交流及び育児相談を実施し、育児不安解消のための支援を行います。	子育て支援課 城北児童館 近江町交流プラザ
78	児童家庭相談室	母子・父子自立支援員や子どもソーシャルワーカー等が、貧困の状況にある子どもやひとり親家庭の相談・支援を包括的にを行います。	子育て支援課
79	幼児相談室	乳幼児の発育や発達に関して悩みや心配があるときに相談でき、通所指導を行う幼児相談室を3か所設置しています。	幼児教育センター
80	教育相談	学校生活や就学、発達、不登校等について相談に応じ、関係機関と連携しながら継続的に支援を行います。不登校の小中学生が通室する「そだち」を3か所設置しています。医師、言語聴覚士等の専門家によるアドバイスも受けられます。	学校教育センター

新

新

施策 関係機関のネットワークの連携強化

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
81	ネットパトロール事業	Twitter等の子どもがよく使用するサイトをチェックし、教育委員会や警察と連携を図りながら、青少年の非行防止を強化していきます。	青少年健全育成センター
82	金沢市子どもの貧困対策チーム	関係部局が連携して、子どもの貧困対策を総合的に推進するため対策チームを設置し、「金沢市子ども生活応援プラン」の進捗状況の確認、計画に基づく施策の推進について協議していきます。	子育て支援課
83	金沢市ひきこもり広域ネットワーク連絡会	ひきこもりに関わる石川中央都市圏市町関係機関と支援団体の連携を深める連絡会を開催します。	福祉健康センター (泉野・元町・駅西)
84	石川中央都市圏適応指導教室等連絡会	石川中央都市圏の適応指導教室等が連携し、相談や指導方法を研究することにより、適応指導教室等の充実を図ります。	学校教育センター

施策 重層的な支援体制の推進

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
85	子ども居場所づくり総合支援事業 (令和5年度新規事業)	子どもの居場所づくりを総合的に推進するため、地域における子どもの食や学習の場を確保するための支援制度を創設します。 (新規開設時の物品購入費や管理運営費を補助)	子育て支援課
86	金沢版重層的支援体制整備事業	子ども、高齢者、障害のある方などの世帯が抱える複雑・多様な課題に対応するため、相談支援や地域への参加支援、居場所・交流の場づくりへの支援など、包括的な支援体制を構築していきます。	福祉政策課
87	拠点型子ども宅食モデル事業	「子ども」宅食について、地域等と連携を図りながら金沢型としての取組をモデル事業	子育て支援課

新

		として実施し、必要な支援につなげていきます。	
88	子どもソーシャルワーカー	子どもに関する様々な相談・支援やネットワークづくりを担う子どもソーシャルワーカーを配置し、支援が必要な子どもを早期に発見・支援します。	子育て支援課
89	金沢こども応援ネットワーク事業	子どもの貧困対策等、子どもの生活を支援する活動を行っている団体等がネットワークを形成して交流をもち、支援情報の発信への協力、情報交換、各団体の活動の充実等を目指します。	子育て支援課

施策の方向性Ⅲ－１ 家庭、地域、学校における環境の整備

青少年が地域社会の一員として社会性や豊かな人間性を育んだり、困難に直面したときには支援を求め、安心して過ごすことのできる居場所づくりを推進します。また、地域全体で子どもたちを見守り、育成していくために、家庭、地域、学校がそれぞれの役割を果たしながら互いに連携し、協力できる環境づくりを進めます。

施策 青少年の居場所づくりの推進

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
	子ども居場所づくり総合支援事業 (令和5年度新規事業)	再掲(Ⅱ－2－施策『重層的な支援体制の推進』)	子育て支援課
90	長土堀「絆」文化祭 (令和5年度新規事業)	令和5年秋の「いしかわ百万石文化祭2023」にあわせ、長土堀青少年交流センターで活動する文化団体によるステージ発表及び参加型ワークショップを開催します。	青少年健全育成センター
91	長土堀「絆」交流フェスティバル	長土堀青少年交流センターを拠点に活動する団体間の交流を促進するとともに、市民が青少年健全育成への理解を深めることを目的として開催します。	青少年健全育成センター
92	長土堀青少年交流センター	青少年の主体的な学びや交流を促進することを通じて、健全で活力に満ち、創造性豊かな青少年の育成を図ります。	青少年健全育成センター

新

新

93	児童館フェスティバル	市内の児童館における活動成果の発表と遊びを通じた市民交流の場として開催します。	子育て支援課 城北児童会館
94	地区児童館事業	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し情操を豊かにすることを目的とする「児童館」の活動に対する事業費の助成を行い、事業の安定運営等の推進を図ります。	子育て支援課
95	放課後児童クラブ事業	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に、授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、健全な育成を図ります。	子育て支援課
96	こころのボランティア活動支援	ひきこもり等の悩みを抱えている方々の「つどいの場」の運営をし、「こころの居場所」づくりを推進します。	福祉健康センター (泉野・元町・駅西)
97	屋内交流広場（あめるんパーク）	天候に左右されず、年間を通して様々な運動ができる施設の運営を通じ、子どもの運動機能の発達をサポートします。	スポーツ振興課
	子ども食堂	再掲（Ⅱ－1－施策『生活に困難を抱える家庭への支援』）	子育て支援課
	甥杉少年の森・土子原こども野外広場	再掲（Ⅰ－1－施策『豊かな心と健やかな体の育成』）	青少年健全育成センター
	かなざわユースプロジェクト推進事業	再掲（Ⅰ－3－施策『まちづくり等で活躍する青少年への育成』）	青少年健全育成センター

施策 地域と学校の協働の推進

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
98	地域学校協働活動	地域と学校が連携・協働しながら、地域全体で子どもの学びと成長を支え、地域を活性化する活動（地域行事や郷土学習、学校周辺環境整備など地域に根ざした活動）を推進しています。	生涯学習課

99	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）	学校が抱える固有の課題の解決に向け、保護者や地域の方々が学校とともに知恵を出し合い、学校運営に参画することで、「地域とともにある学校づくり」を進めるコミュニティ・スクールを実施します。	学校職員課
100	金沢まちづくり学生会議	金沢まちづくり学生会議が市と協働して、学生相互又は学生と市民との相互の交流及び学生の自主的な活動を促進します。	市民協働推進課

施策 家庭の教育力向上への支援

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
101	親の学び場 （旧：家庭教育学級）	保育所・認定こども園・幼稚園・小中学校等に通う子どもを持つ親に、「親自身が家庭教育について学び合う場」を提供し、学び合いを通じて、家庭の教育力を高めていきます。	生涯学習課
102	親の学びあい講座	子どもの理解や親子のかかわり方等、子育てに必要な知識やスキルについて、親同士がワークショップを通じて話し合い、主体的に学ぶ講座を開催します。	生涯学習課
103	かなざわ父親ねっと	各小学校区の父親会からなるネットワークで、父親の子育て参加及び父親会活動の活性化を目指します。	生涯学習課

施策の方向性Ⅲ－2 青少年の安全・安心の確保

青少年の安心・安全を確保するために、有害環境の浄化活動を推進します。また、青少年の非行・被害防止対策を推進します。

施策 有害環境の浄化活動の推進

【主な取組・事業】

№	事業名	内容	担当課
104	金沢市青少年健全育成協議会	地域の青少年の健全育成を推進する団体が、それぞれの地域において、有害環境の浄化活動や非行防止活動等を行い、子ども達が健やかに育つ地域づくりを推進しています。	青少年健全育成センター

105	金沢市少年非行防止連絡協議会	金沢市における少年の非行防止等について、関係する機関及び団体相互が連携を図り、密接な連絡・情報交換・協議等を行います。	青少年健全育成センター
106	関係機関との連携	石川県少年補導連絡協議会、金沢市小中学校校外指導連盟、金沢地区高校生生徒指導連絡協議会等と情報共有・連携を図り、有害環境の浄化活動や青少年の非行防止活動等を行います。	青少年健全育成センター

施策 青少年の非行・被害防止対策の推進

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
107	街頭補導活動	少年育成支援室の補導員（警察・教員OB等）が、繁華街や郊外のショッピングセンター等を巡回し、補導活動を行います。	青少年健全育成センター
108	青少年のネット被害防止のためのリーフレット	SNSの利用等による被害の現状や危険性、地域で取り組むことができる活動等をまとめたリーフレットを作成、各地区の青少年健全育成協議会へ配布しています。	青少年健全育成センター
109	かがやき発信講座	「こどものネット被害への対応」のテーマに「かがやき発信講座」を開催し、本市の取組を周知していきます。	青少年健全育成センター
110	情報モラル教育の実践	校内研修の充実により、ICTの効果的な利用を推進するとともに、セキュリティについての指導や児童生徒の発達の段階に応じた情報モラル教育を実践します。	学校指導課
111	子ども見守りボランティア	金沢市の学校防犯ボランティアが通学路等において児童生徒の見守り活動等を行い、児童生徒の安全確保の充実を図ります。	教育総務課
	ネットパトロール事業	再掲（Ⅱ-2-施策『関係機関のネットワークの連携強化』）	青少年健全育成センター

施策の方向性Ⅲ－3 青少年の成長を支える担い手の育成・支援

青少年の成長を社会全体で支えるため、地域の青少年団体や地域の身近な大人など多様な担い手を育成・確保するとともに、それぞれの連携と協働を推進し、持続的な活躍が可能となるよう支援します。

施策 青少年活動の活性化に向けた支援

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
112	金沢市子ども会連合会との連携	市内各地区の子ども会で組織する金沢市子ども会連合会と連携し、子どもたちの創造性・自主性を高め、地域子ども会の活性化及び地域指導者の育成を図ります。	青少年健全育成センター
113	金沢市青少年団体連絡協議会との連携	ボーイスカウト、ガールスカウトなど青少年13団体で構成する金沢市青少年団体連絡協議会と連携し、青少年の健全育成及び団体活動の振興を図ります。	青少年健全育成センター

施策 地域の多様な担い手の育成・支援

【主な取組・事業】

No	事業名	内容	担当課
	かなざわ野外活動リーダー育成事業 (令和5年度新規事業)	再掲(Ⅰ－1－施策『豊かな心と健やかな体の育成』)	青少年健全育成センター
114	金沢学生のまち市民交流館管理運営事業	まちなかにおける学生と市民との交流、まちづくり活動に関する情報交換及び学習の拠点として管理運営し、各種事業を行います。	市民協働推進課
115	職人大学校連携事業	金沢職人大学校との連携により、「匠の技」を継承する優れた職人の指導を受けることで、建築科生徒の伝統的な木造建築に関する知識と技能の向上を図ります。	市立工業高校
116	金沢市青少年健全育成成功労者表彰	青少年の健全育成の推進に多大な功績があった個人及び団体への表彰を行うことで、青少年健全育成活動に対する意識高揚と活動の活性化を図っています。	青少年健全育成センター

新

	金沢市青少年健全育成協議会	再掲（Ⅱ－２－施策『有害環境の浄化活動の推進』）	青少年健全育成センター
--	---------------	--------------------------	-------------

第4章 プランの推進体制

第4章 プランの推進体制

1. プランの広報

より多くの市民の方に「金沢市青少年健全育成推進アクションプラン」を周知するために、市のホームページに掲載するとともに、関係機関との会議等で直接プランの考え方を説明し、理解を求めています。

2. プランの推進

(1) こども未来局を中心とした推進体制

こども未来局を中心に本市の子ども・若者の育成に係る関係各課で構成する庁内ワーキングを設置し、本プランに掲げた施策を総合的に推進します。

(2) 関係団体との連携

地域における青少年育成の中核を担う金沢市青少年団体連絡協議会等との連携を密にし、本プランの着実な推進に努めます。また、民間団体やNPO、企業等との連携や協働も進め、社会全体での青少年育成の意識の醸成を図り、取組を推進します。

3. プランの進行管理

本市の子ども・若者の育成に係る関係各課が、それぞれ担当する事業の進捗を確認するとともに、子ども・若者の意向の反映に努め、社会状況に応じた切れ目のない施策の推進を図っていきます。加えて、プランを実施するにあたり、課題が生じた際には、有識者や専門家から意見をお聞きしながら推進していきます。

また、計画期間中においても、新たな課題や社会情勢の変化、国等の動向に対応し、必要に応じて新たな対策を講じていきます。

資料編

資料編

1. 策定経緯

期 日	会議・審議事項等
令和4年8月9日	第1回検討委員会 ・金沢市青少年健全育成推進アクションプラン施策の体系素案について ・金沢市の青少年に関するアンケート調査について
令和4年8月26日	第1回若者ワーキングチーム会議 ・提案内容の検討
令和4年10月20日	第2回若者ワーキングチーム会議 ・提案内容の検討
令和4年11月14日	第2回検討委員会 ・金沢市の青少年に関するアンケート調査結果について ・若者ワーキングチームの提案の検討 ・プランの基本理念について ・プランの骨子案について ・骨子案に基づく施策の検討について ・プランにおけるKPI（重要業績評価指標）の設定について
令和4年12月20日～ 令和5年1月18日	・パブリックコメントの実施
令和5年1月31日	第3回検討委員会 ・プラン最終案の検討

2. 委員名簿

(1) 金沢市青少年健全育成推進アクションプラン検討委員名簿

氏名	所属団体・役職等
◎池田 幸應	金沢星稜大学人間科学部 教授
○中川 靖彦	ボーイスカウト金沢地区協議会 地区副コミッショナー
長澤 裕子	金沢市教育委員（弁護士）
仁志出 憲聖	金沢市起業実践アドバイザー （株式会社ガクトラボ代表取締役）
福本 有美	金沢市PTA協議会 副会長
安井 詩織	金沢市子ども会連合会 シニア委員長
山田 貴弘	金沢市青少年健全育成協議会 伏見台地区青少年健全育成協議会 会長

（五十音順：敬称略）

◎：会長、○：副会長

委嘱期間：令和4年7月15日～令和5年3月31日

(2) 金沢市青少年健全育成推進アクションプラン・若者ワーキングチーム名簿

氏名	所属
田中 瑠音	金沢市子ども会連合会
出越 小春	金沢市子ども会連合会
宮崎 正太郎	ボーイスカウト金沢地区協議会
本多 理紗子	ガールスカウト金沢地区協議会
島田 鴻河	かなざわユースプロジェクト
矢川 耕志	金沢まちづくり学生会議
高田 美央	平和町活性化プロジェクト

（敬称略、順不同）

3. 若者ワーキングチーム会議の提案

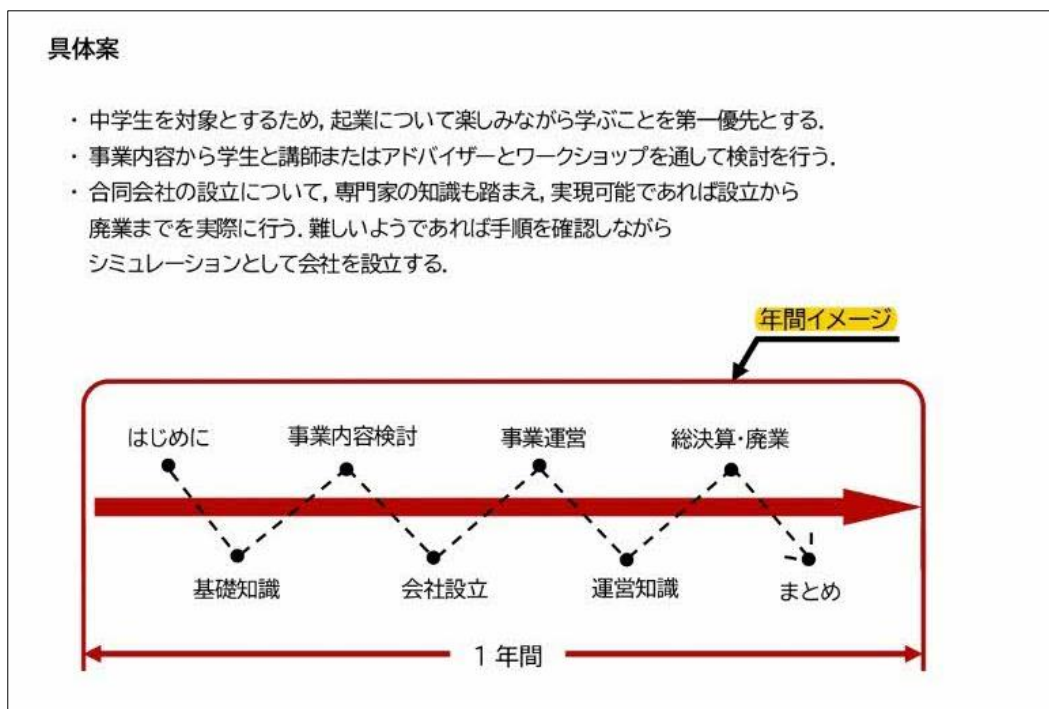
日 時	令和4年11月14日（月）19:00～19:30
場 所	金沢市長土塀青少年交流センター
発表者	金沢市青少年健全育成推進アクションプラン・若者ワーキングチーム7名
内 容	長土塀青少年交流センター及び野外体験施設に関する提言

(1)長土塀青少年交流センターに関する提案

① 会社作りませんか

項 目	内 容
背景	現在の中学生・高校生は、学校間の交流や学校内の学生の交流が少ないとともに、中学・高校で事業の経験が少ない。
概要	各学校から学生を集め、会社設立から廃業までのプロセスを行い、学びの機会を作る。楽しみながら起業、事業について学ぶこと
必要な人	アドバイザー1人、講師1人、中学生10人
将来的な展望	中学生を対象とした講座では、体験的に学習し、安定した基盤づくりをめざす。将来的に高校生を対象とした実践的な学習と新しい課外活動の形をめざす。

図表 42 「会社作りませんか」提案書（抜粋）



② 劇的ビフォーアフター

項目	内容
背景	現在の長土堀青少年交流センターは、「よく分からない公共施設」であると感じられる。このため、パンフレットの一新と施設名称の募集と変更等により、「気軽に来て・過ごせて・予約できる」施設をめざす
概要	具体案①パンフレットの一新と施設名称の募集・施設名称変更 具体案②デザインチェア・デスクの導入 具体案③ボードゲームの設置、はがせる壁紙、お菓子のプレゼント

図表 43 「劇的ビフォーアフター」提案書（抜粋）

具体案

パンフレット一新・新名称募集

- 施設のパンフレットを一新または追加で作成し、ターゲット層である青少年に触れやすい、フレンドリーなものに。
- 施設の名称を一新し、コンテスト形式で小学生～高校生から募集する。
- 採用された方に景品をプレゼントすることで、積極的な投票を促す。

流れのイメージ

- パンフレット(仮)を作成
- 小学校～高校に募集
- 名称決定
- パンフレット完成

※パンフレット(仮)＝表紙の名称部分のみ空白のもの

パンフレットに対する改善案

- 色を寒色系→暖色系に
- 設置目的(より馴染みやすく)
- 利用するまでの流れを強調
- 4F テラス, 外芝生の紹介
- フォントを変える(やわらかいフォント)
- 青少年だったら利用料無料を強調
- 利用料の説明は端で充分
- 9時に完全撤収が必要なることを強調


長土堀

▶

長土堀

デザインチェア・デスクにリニューアル

- 交流スペースまたは学習スペースの机・椅子などをリニューアルし、独創的なデザインや、ついそこで立ち止まって使ってみたくなるスペースに
- 普通のスペースとは違う空気感で、集中を促す。




ex, 県内学生に椅子, 机を含めた室内設計を依頼する。
(金沢工業大学 建築学部, 金沢科学技術中学校 建築学科, 金沢美術工芸大学…)

ボードゲーム・はがせる壁紙・お菓子のプレゼント

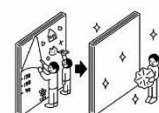
ボードゲームの設置

- 交流スペースなどに常備または受付で借りて、誰でも空き時間に楽しむことが出来るようにする。
ex. チェス, カタン, 人生ゲーム…




はがせる壁紙

- 一室または特定のスペースにはがせる壁紙を貼り、落書き可能なスペースにする。
- 一定期間で壁紙を一新し、お題などを設定することで季節に合った落書きなどを推奨する



お菓子のプレゼント

- 学習コーナーを利用している学生にお菓子のプレゼント
- 一定時間経過ごとにお菓子を貰えるようにし、勉強に励む学生を応援する。



(2) 野外体験施設（娯杉少年の森・土子原こども野外広場）に関する提案

① 劇的ビフォーアフター

項目	内容
背景	現在の野外体験施設は、施設の老朽化が進んでいる。また、若者の認知度が低いという課題がある。
具体案	若者が協働で施設をリフォームするプロジェクトの実施 対象箇所：管理棟、屋根、グラウンド、害獣対策柵等
必要な人・もの	参加者（若者）、指導者、材料、道具

図表 44 親子キャンプ活動の様子（左：餅つき（春）右：イワナつかみ（秋））



② ゆるーくやりませんか

項目	内容
背景	現在の野外体験施設は、利用者が少なく、また利用する団体が限定的である。また、指導員・管理人が高齢化するとともに人員が不足している。
具体案	<ul style="list-style-type: none">・利用制限の緩和として、最低必要人数を変更する。・若者を集めてキャンプ等を実施することで、指導者を育成する。
必要な人・もの	<ul style="list-style-type: none">・ルール：少人数（家族・サークル）での利用の場合に守ってもらうルールづくり。また、複数の団体が同時に利用できるようなルールづくりを行う。

発行／金沢市

編集／金沢市こども未来局 青少年健全育成センター

住所 石川県金沢市長町 3-3-3

電話：076-220-2102 / FAX：076-265-7499

e-mail：kenzen@city.kanazawa.lg.jp

